

令和2年度 松戸市社会教育計画年度報告書

松戸市社会教育計画は、すべての市民の学びを保障し、松戸市の将来像や市民が潤いのある生活をするために、社会教育行政が果たす役割と方向性を示す計画です。

本計画では、「市民一人ひとりが、いつでも どこでも 必要に応じた学習活動を積極的に行うことができ、その学習の成果を自らの人生や地域社会の活性化に生かすことのできる」という基本理念を実現していくために4つの基本目標を掲げ、基本目標ごとに施策を設けて事業を推進しております。

この年度報告書は、PDCAサイクルに基づき、各施策に対する各課の事業内容（Plan）に対し、事業の「実施状況（Do）」の点検、評価を行い、「事業の進捗や成果が適切で目標実現に寄与しているか」との視点から、各所属において、

「A：施策の目標どおり推進できた」

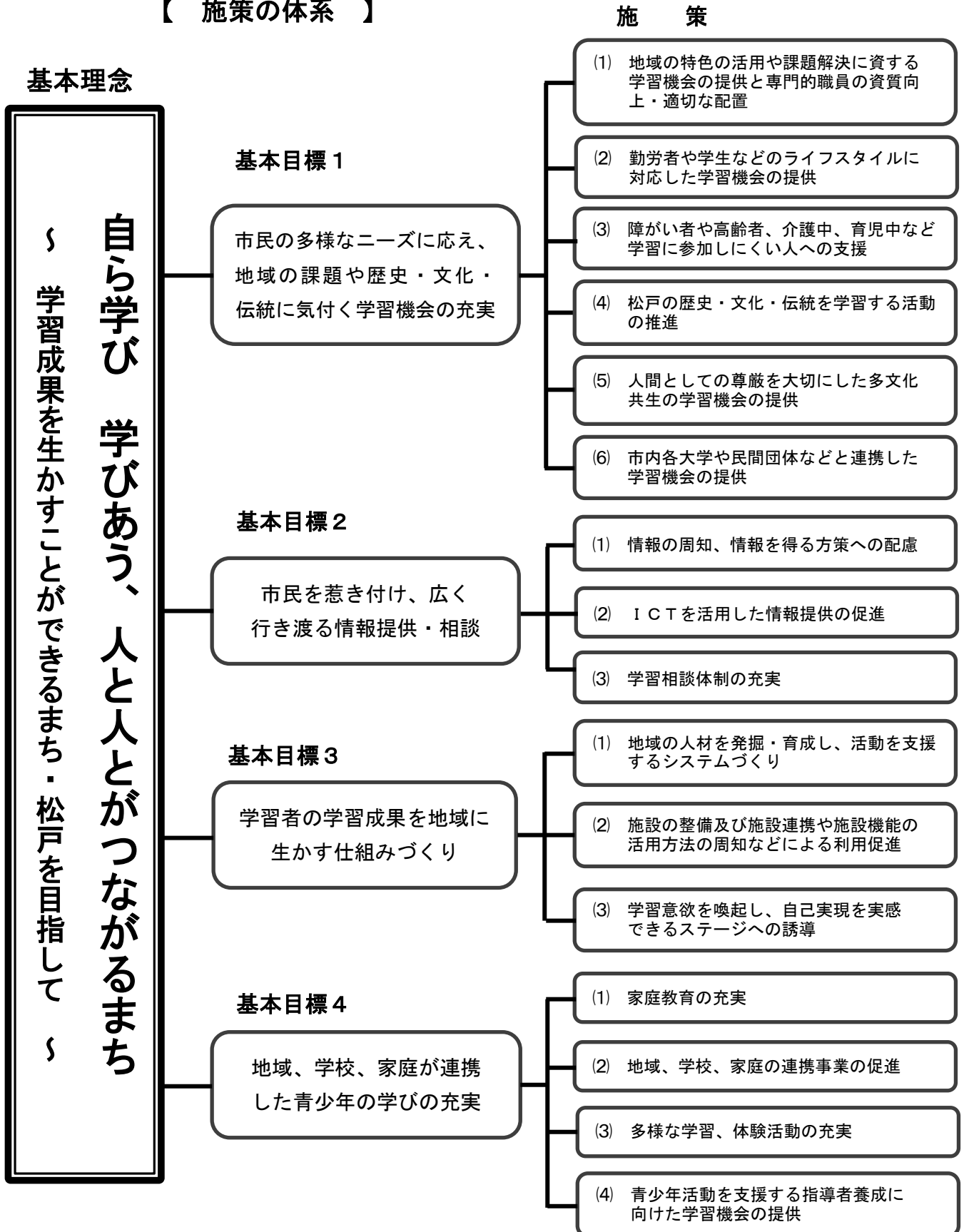
「B：施策について概ね順調に推進している」

「C：施策について進捗は遅れている又は未実施」

の三段階で定性評価（Check）を行うとともに、自己評価を受けて、事業がより推進していけるよう「課題と方向性（Action）」を示したものである。

第4章 社会教育活動を促進するための施策

【 施策の体系 】



基本目標 1

市民の多様なニーズに応え、地域の課題や歴史・文化・伝統に気付く学習機会の充実

施策	生涯学習 推進課						教育企画課	社会教育課				市民会館		図書館			戸定歴史館		博物館		
	①	②	③	④	⑤	⑥		①	②	③	④	①	②	①	②	③	①	②	①	②	③
(1) 地域の特色の活用や課題解決に資する学習機会の提供と専門的職員の資質向上・適切な配置	A	A	B				A	B					A	B		B		-			
	1	2	4				3	3					2	4		5		5			
(2) 勤労者や学生などのライフスタイルに対応した学習機会の提供	A	B																			
	6	7																			
(3) 障がい者や高齢者、介護中、育児中など学習に参加しにくい人への支援	-	-	-										A								
	9	9	10										8								
(4) 松戸の歴史・文化・伝統を学習する活動の推進							B	B					B			A		A	A	A	
							11	15					14			12		12	13	13	
(5) 人間としての尊厳を大切にしたい多文化共生の学習機会の提供	-	A	-																		
	16	17	17																		
(6) 市内各大学や民間団体などと連携した学習機会の提供	-	A					B														
	18	19					19														

上段：評価 / 下段：ページ

評価の件数と割合	A	12	57.1%	B	9	42.9%	C	0	0.0%	評価対象事業数	21
----------	---	----	-------	---	---	-------	---	---	------	---------	----

基本目標 2

市民を惹き付け、広く行き渡る情報提供・相談

施策	生涯学習 推進課						教育企画課	社会教育課				市民会館		図書館			戸定歴史館		博物館		
	①	②	③	④	⑤	⑥		①	②	③	④	①	②	①	②	③	①	②	①	②	③
(1) 情報の周知、情報を得る方策への配慮	A	B	A				B	B	B			A	A	A	B	A	A	A	A	A	A
	21	23	26				25	20	25			21	26	22	24	27	22	27	23	24	28
(2) ICTを活用した情報提供の促進	B						B							A							
	29						30							30							
(3) 学習相談体制の充実	A	A					B							B	B		B		A		
	32	34					31							32	34		33		33		

上段：評価 / 下段：ページ

評価の件数と割合	A	15	57.7%	B	11	42.3%	C	0	0.0%	評価対象事業数	26
----------	---	----	-------	---	----	-------	---	---	------	---------	----

基本目標 3

学習者の学習成果を地域に生かす仕組みづくり

施策	生涯学習 推進課						教育企画課	社会教育課				市民会館		図書館			戸定歴史館		博物館			
	①	②	③	④	⑤	⑥		①	②	③	④	①	②	①	②	③	①	②	①	②	③	
(1) 地域の人材を発掘・育成し、活動を支援するシステムづくり	-	B	-	-				A								B						
	35	36	37	38				37								36						
(2) 施設の整備及び施設連携や施設機能の活用方法の周知などによる利用促進	B	B	B	B	B	B		A	A	A	A	B			B	B		A			B	
	39	40	40	41	44	46		42	43	45	45	42			41	46		43			44	
(3) 学習意欲を喚起し、自己実現を実感できるステージへの誘導	-	-	B					A	A												B	
	47	48	48					49	50												49	

上段：評価 / 下段：ページ

評価の件数と割合	A	8	36.4%	B	14	63.6%	C	0	0.0%	評価対象事業数	22
----------	---	---	-------	---	----	-------	---	---	------	---------	----

基本目標 4

地域、学校、家庭が連携した青少年の学びの充実

施策	生涯学習 推進課						教育企画課	社会教育課				市民会館		図書館			戸定歴史館		博物館			
	①	②	③	④	⑤	⑥		①	②	③	④	①	②	①	②	③	①	②	①	②	③	
(1) 家庭教育の充実	A																					
	51																					
(2) 地域、学校、家庭の連携事業の促進	-						B	-							B							
	53						52	53							54							
(3) 多様な学習、体験活動の充実	A	-																				
	55	56																				
(4) 青少年活動を支援する指導者養成に向けた学習機会の提供	A																					
	57																					

上段：評価 / 下段：ページ

評価の件数と割合	A	3	60.0%	B	2	40.0%	C	0	0.0%	評価対象事業数	5
----------	---	---	-------	---	---	-------	---	---	------	---------	---

【基本目標1】 市民の多様なニーズに応え、地域の課題や歴史・文化・伝統に気付く学習機会の充実

《 施 策 》

(1)地域の特色の活用や課題解決に資する学習機会の提供と専門的職員の資質向上・適切な配置

施策(1) 総合評価(事業課数9)											
評価の割合	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	4/9	44.4%	4/9	44.4%	5/9	55.6%	4/9	44.4%	4/8	50.0%	A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	4/9	44.4%	5/9	55.6%	4/9	44.4%	5/9	55.6%	4/8	50.0%	
C	1/9	11.2%	0/9	0.0%	0/9	0.0%	0/9	0.0%	0/0	0.0%	

事業名	担当課	事業内容(Plan)												
学習機会提供事業(P32)(各種講座開催)	生涯学習推進課	<p>市民が趣味や教養を高めるなど自己を充実することをはじめ、生活上の課題や地域課題を解決することができるよう、各種学習の機会を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まつど生涯学習大学講座 ・ふるさと発見創造講座 ・成人講座 ・市民大学講座 												
		令和2年度の実施状況(Do)												
		<p>〈実施内容〉 市民一人一人が自己を充実することをはじめ郷土の歴史や文化を知り、主体的に地域課題に関心をもって地域共生社会の実現に取り組むことができるような各種学習の機会を提供する。</p> <p>〈実施状況〉 新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み中止した講座もあったが、成人講座では、新しい生活様式の下でオンライン配信講座の実施や、新たな市民ニーズに即した内容の講座をした。 【成人講座参加者数】 ※参加者は全て延べ人数 R2: 延べ2,078人 ・成人講座の内訳 ※参加者は全て延べ人数 ジャズを学ぼう(オンライン講座)全3回 741名 スマホ講座(シニア向け)全10回 53人 基礎学習講座 131回 1,284人</p>												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>担当課による定性評価(3段階評価)(Check)</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> </tr> </tbody> </table>	担当課による定性評価(3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2		A	A	A	A	A
		担当課による定性評価(3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2							
			A	A	A	A	A							
令和3年度の方針(Action)														
<p>自立した市民の育成を目的として、各講座を通して豊かな教養を育む機会を提供する。講座の企画段階において、テーマ、講師選定、開催回数や時期、場所の設定等を工夫し、様々なテーマで学習機会のさらなる拡充を図る。 令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン講座の配信、双方向型講座など、新しい生活様式に合わせた講座を開催していく。</p>														
松戸の教育参考ページ	P62~64 (1)講座状況													

事業名	担当課	事業内容(Plan)										
社会教育活動支援事業（P32）	生涯学習推進課	市民の自主的な社会教育活動の振興を図るため、社会教育関係団体への支援を行う。										
		<ul style="list-style-type: none"> ・施設使用料等の減免、共催、後援 ・広報掲載（行事案内、会員募集） ・ポスター掲出 ・視聴覚ライブラリーを無料で貸し出し 										
		令和2年度の実施状況(Do)										
		〈実施内容〉 市民の自主的・自立的な学びの推進を図るため、社会教育関係団体の活動を支援する。										
		〈実施状況〉 <ul style="list-style-type: none"> ・公民館使用料等の減免： <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>10割減免（社会教育関係団体）</td> <td>R2：1,069件</td> <td>R1：1,759件</td> </tr> <tr> <td>3割減免（社会福祉団体等）</td> <td>R2：0件</td> <td>R1：20件</td> </tr> </table> ・共催・後援 R2：32件 R1：146件 ・広報掲載 R2：138件 R1：275件 （4/1～3/15号：行事案内、会員募集など） ・ポスター掲出 R2：13件 R1：111件 ・視聴覚ライブラリー貸し出し R2：153件 R1：280件 					10割減免（社会教育関係団体）	R2：1,069件	R1：1,759件	3割減免（社会福祉団体等）	R2：0件	R1：20件
		10割減免（社会教育関係団体）	R2：1,069件	R1：1,759件								
		3割減免（社会福祉団体等）	R2：0件	R1：20件								
			H28	H29	H30	R1	R2					
			A	A	A	A	A					
		令和3年度の方向性(Action)										
引き続き、社会教育関係団体の支援を通して、市民の自主的な社会教育活動の推進を図る。												
松戸の教育参考ページ	P69 (4)視聴覚ライブラリー											

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
図書館管理運営事業（P32）	図書館	課題解決のために多様な情報の提供を図るとともに、市民の自主的な学習活動を支援するため、調べ方案内の提供や情報活用能力の育成を図ります。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		<ul style="list-style-type: none"> ・博物館の企画展開催に合わせて、調べ方案内(パスファインダー)を作成・配布し、関連図書の展示を行った。 ・資料の寄贈を受け、郷土資料の充実が図られた。 ・開架資料の選定や複本冊数の適正化などを積極的に行い、多様な情報の提供のための蔵書構築を進めた。 					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			C	B	A	A	A
		令和3年度の方向性(Action)					
		引き続き、蔵書収蔵能力の拡充を図るとともに、幅広い分野の資料の体系的な収集を進める。また、調べ方案内(パスファインダー)の作成や講座の開催等、市民の情報リテラシー向上のための取り組みを進めていく。					
		松戸の教育参考ページ	—				

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
社会教育専門的職員の資質向上・適切な配置(P32)	教育企画課	社会教育行政が、市民の高度で多様化する学習要求をはじめ、地域課題に適切に対処した学習機会や学習の成果を生かした活動を支援できるよう、専門的職員の資質向上を図る研修の機会などを充実し、適切な配置に努める					
		・社会教育主事、公民館主事、図書館司書、学芸員などの研修の機会の充実					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		専門的職員の資質向上については、教育企画課で取りまとめている派遣研修計画に基づく研修及び、各課の予算による派遣研修を行うことで専門的職員への一定の研修機会は確保できている。 派遣研修計画に基づく研修件数…1件					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28 B	H29 A	H30 A	R1 A	R2 A
		令和3年度の方向性(Action)					
		社会教育行政が、市民の高度で多様化する学習要求をはじめ、地域課題に適切に対処した学習機会や学習の成果を活かした活動を支援できるよう、また専門的職員の資質向上については、引き続き一定の研修機会の確保に努める。					
松戸の教育参考ページ	—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
社会教育専門的職員の資質向上・適切な配置(P32)	社会教育課	社会教育行政が、市民の高度で多様化する学習要求をはじめ、地域課題に適切に対処した学習機会や学習の成果を生かした活動を支援できるよう、専門的職員の資質向上を図る研修の機会などを充実し、適切な配置に努める					
		・社会教育主事、公民館主事、図書館司書、学芸員などの研修の機会の充実					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		文化財については、他分野に渡る専門的知識の修得のため、文化財担当学芸員に加え、事務職員も千葉県や千葉県北西部地区文化財行政担当者連絡協議会などの研修会や研究会に参加し、資質向上を図った。 ・R2文化財に係る研修会及び研究会参加人数:延べ 9人(8件)[R2同参加人数:延べ42人(28件)]→コロナ禍により研修自体の中止が多かったため					
		令和2年度は国立教育政策研究所社会教育実践研究センターが主催する「社会教育主事講習」に職員を派遣することができなかった。 ・社会教育主事の発令を受けている職員 R2:2人/18人 (R1:2人/17人)					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28 B	H29 B	H30 B	R1 B	R2 B
		令和3年度の方向性(Action)					
文化財については、対象となる時代や地域・内容が広範囲にわたることから、職員には幅広い知識とそれを補うための学習が必要となっている。令和3年度についてコロナ禍により研修会の開催状況が不明であるが、担当職員の知識の修得のための研修会の参加をできる範囲で進めていく。特に動画視聴による研修会の開催について積極的な参加を進めていく。							
市町村における社会教育主事の配置率が全国的に低下傾向であることから、所属職員が計画的に「社会教育主事講習」を受講していく必要がある。令和3年度は1名を受講予定とする。							
松戸の教育参考ページ	—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
社会教育専門的職員の資質向上・適切な配置(P32)	生涯学習推進課	社会教育行政が、市民の高度で多様化する学習要求をはじめ、地域課題に適切に対処した学習機会や学習の成果を生かした活動を支援できるよう、専門的職員の資質向上を図る研修の機会などを充実し、適切な配置に努める					
		・社会教育主事、公民館主事、図書館司書、学芸員などの研修の機会の充実					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		社会教育主事資格取得のために講習会へ職員を派遣するとともに、職員の資質向上を図るため必要な研修機会を充実させた。					
		・社会教育主事の発令を受けている職員:10人/18人 ・新たに「社会教育主事講習会(社会教育実践研究センター)」を受講した職員:1名					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			A	A	A	B	B
令和3年度の方角性(Action)							
社会教育行政が、市民の高度で多様化する学習要求をはじめ、地域課題に適切に対処した学習機会や学習の成果を活かした活動を支援できるよう、また専門的職員の資質向上については、引き続き一定の研修機会の確保に努める。							
松戸の教育 参考ページ	—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
社会教育専門的職員の資質向上・適切な配置(P32)	図書館	社会教育行政が、市民の高度で多様化する学習要求をはじめ、地域課題に適切に対処した学習機会や学習の成果を生かした活動を支援できるよう、専門的職員の資質向上を図る研修の機会などを充実し、適切な配置に努める					
		・社会教育主事、公民館主事、図書館司書、学芸員などの研修の機会の充実					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		・司書資格取得のための講習会に職員1名を派遣した。 ・ビジネス・ライブラリアン講習会をはじめ、さまざまな外部研修への派遣及びオンライン受講を行うことで、職員の専門性の向上を図った。 職員受講研修数(庁内研修除く) R2:21回 R2:39回					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			B	B	B	B	B
		令和3年度の方角性(Action)					
・引き続き、司書資格を有する職員の確保に努める。 (正規職員32名のうち司書有資格者19名) ・外部研修への職員派遣及びオンライン受講、および館内研修の充実に努め、職員の専門性の向上を図る。							
松戸の教育 参考ページ	—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
社会教育専門的職員の資質向上・適切な配置(P32)	戸定歴史館	社会教育行政が、市民の高度で多様化する学習要求をはじめ、地域課題に適切に対処した学習機会や学習の成果を生かした活動を支援できるよう、専門的職員の資質向上を図る研修の機会などを充実し、適切な配置に努める ・社会教育主事、公民館主事、図書館司書、学芸員などの研修の機会の充実					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		退職不補充等もあり令和元年度から学芸員2→1名に減員となったため、展示・研究等、学芸業務を1名で一手に引き受けるとともに事務業務も担っており、外部研修等への参加が難しい現状がある。 また、学習支援専門員について、市内小中学校等への広報及び資料作成を行い、地域への教育普及活動の充実を図った。					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			A	B	B	B	B
		令和3年度の方角性(Action)					
学芸員の適正配置を求めるとともに、他の文化施設やメディア等との連携・交流を通じて専門的知識のブラッシュアップ及びインプットを図り、資質向上を目指す。また、業務のさらなる効率化を推進し、研修機会の充実を図る。 学習支援専門員については、学校との連携を中心に、さらなる地域への教育普及活動の充実を目指す。							
松戸の教育 参考ページ	—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
社会教育専門的職員の資質向上・適切な配置(P32)	博物館	社会教育行政が、市民の高度で多様化する学習要求をはじめ、地域の課題に学習機会や、学習の成果を生かした活動を支援できるよう、専門的職員の資質向上を図る研修の機会などを充実し、適切な配置に努める。 ・社会教育主事、公民館主事、図書館司書、学芸員などの研修の機会の充実					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		博物館には、高い専門的技能を持つ学芸員の存在が不可欠であり、資料の収集・保管など、専門的知識・技術の習得、知識の向上を図ることを目的として、各種研修会に参加した。 ・研修会参加実績 R2年度(0回)※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止。 R1年度(12回)					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			B	B	B	B	—
		令和3年度の方角性(Action)					
新たな市民ニーズに対応した博物館運営には、学芸員の計画的配置と個々の人材育成が必要である。学芸員に求められる専門的知識・技術の一層の向上を図るため、研修や学術団体への参加などにより学芸員の人材育成に取り組んでいく。							
松戸の教育 参考ページ	—						

《 施 策 》

(2) 勤労者や学生などのライフスタイルに対応した学習機会の提供

施策(2) 総合評価(事業課数2)											
評価の割合	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	2/2	100%	2/2	100%	1/2	50%	1/2	50%	1/2	50%	A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	0/2	0.0%	0/2	0.0%	1/2	50%	1/2	50%	1/2	50%	
C	0/2	0.0%	0/2	0.0%	0/2	0.0%	0/2	0.0%	0/2	0.0%	

事業名	担当課	事業内容(Plan)												
学習機会提供事業 (P33) (基礎学力再履修講座開催)	生涯学習推進課	義務教育を終えた後も、基礎学力が足りない、基礎学力をもっと身につけたい、また、その他様々な理由により再び学びたいと考えている市民に対し、講座を開設する。												
		令和2年度の実施状況(Do)												
		・基礎学習講座 カリキュラム 国語・数学(算数)・英語・社会(1教科24名) R2: 授業開催数: 延べ131人 受講生: 80人 延べ1,284人 修了書授与者0人 R1: 授業開催数: 延べ643人 受講生: 101人 延べ8,146人 修了書授与者88人												
		※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、前期すべてを中止し、分割授業などを活用し再開した後期も途中の打ち切りとしたため、修了書を配布しなかった。												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> </tr> </tbody> </table>	担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2		A	A	A	A	A
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2							
	A	A	A	A	A									
令和3年度の方角性(Action)														
松戸市立第一中学校みらい分校(夜間中学校)の開校により、基礎学習講座の存続意義の見直しを検討した結果、令和3年度より新たな形で開催する。具体的には、人生100年時代を見据えた生涯学習として、年齢にとらわれずに「学び直し」ができる学習機会を提供するため、別講座として「やさしい教養講座」を開講する。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行い、安心して参加できるよう開催していく。														
松戸の教育 参考ページ	—													

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
(学 各 種 講 座 開 催 提 供 一 事 部 業 再 掲 P 3 3 2)	生涯学習推進課	<p>【成人講座】 働く人々等を対象とした、新しい自己の発見と充実した生活、人間関係の広がりをめざした学習の場として開催する。 (昼間・夜間・週末に実施)</p>						
		令和2年度の実施状況(Do)						
		<p>〈実施内容〉 市民一人一人が自己を充実することをはじめ郷土の歴史や文化を知り、主体的に地域課題に関心をもって地域共生社会の実現に取り組むことができるような各種学習の機会を提供する。</p> <p>〈実施状況〉 新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み中止した講座もあったが、成人講座では、新しい生活様式の下でオンライン配信講座の実施や、新たな市民ニーズに即した内容の講座をした。 ・成人講座参加者数 ※参加者は全て延べ人数 R2: 延べ2,078人 【成人講座の内訳】※参加者は全て延べ人数 ジャズを学ぼう(オンライン講座)全3回 741名 スマホ講座(シニア向け)全10回 53人 基礎学習講座 131回 1,284人</p>						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)		H28	H29	H30	R1	R2
				A	A	B	B	B
		令和3年度の方角性(Action)						
		<p>自立した市民の育成を目的に、地域の価値や魅力など豊かな教養を育むための多様な講座を提供するとともに、開催場所や日時を工夫して実施する。併せて、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン講座の配信、双方向型講座など、新しい生活様式に合わせた講座を開催していく。</p>						
松戸の教育 参考ページ	P62 (1)講座状況 [成人講座]							

《 施 策 》

(3)障がい者や高齢者、介護中、育児中など学習に参加しにくい人への支援

施策(3) 総合評価(事業課数4)											
評価の割合	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	3/4	75%	3/4	75%	4/4	100%	3/4	75%	1/1	100%	
B	1/4	25%	1/4	25%	0/4	0.0%	1/4	25%	0/1	0.0%	
C	0/4	0.0%	0/4	0.0%	0/4	0.0%	0/4	0.0%	0/1	0.0%	

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
(身体障害者図書貸出等) (一部再掲) (P32) (P34)	図書館	病院等施設(病院及び老人ホーム)に入院・入所して図書館利用に困難な状況にある方々への巡回サービスを実施し、市民が「等しく」利用できる図書館を目指している。また、身体障害者及びねたきりの方々に対しても、図書の宅配サービスを行う。						
		令和2年度の実施状況(Do)						
		施設巡回サービスについては令和2年4月から5月まで中止していた。その後同年6月から新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じた運用の見直しを行い、施設巡回サービスの提供対象には、資料の引渡し方法を工夫し貸出するなど施設の希望を聞き取り、サービスを再開した。宅配サービスについても同年2月から5月まで中止していた。その後同年6月から感染予防を講じたうえで、利用者の希望を聞き取り、サービスを再開した。						
		・ 施設巡回サービス 登録施設数 R2 : 21施設 R1 : 21施設 巡回施設数 R2 : 15施設 R1 : 21施設 巡回回数 R2 : 174回 R1 : 361回 延利用者数 R2 : 1,310人 R1 : 3,457人 貸出冊数 R2 : 3,578冊 R1 : 10,471冊						
		・ 宅配サービス 登録者数 R2 : 50人 R1 : 47人 延利用者数 R2 : 288人 R1 : 349人 貸出冊数 R2 : 1,045冊 R1 : 1,392冊						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)		H28	H29	H30	R1	R2
				B	B	A	A	A
令和3年度の方角性(Action)								
・各施設の利用者からのニーズや要望を利用促進につなげるため、資料の案内を行う。 ・施設巡回サービスや宅配サービス利用者のニーズの把握に努め、図書館サービスの利用の促進を図る。								
松戸の教育 参考ページ		—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
青少年活動支援事業 (P34)	生涯学習推進課	【青年学級講座】 特別支援学級を卒業した人を対象に、自立、余暇活動の充実、仲間づくりを支援し、社会的連帯感を高めていく機会として開催する。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		<実施内容> 特別支援学級の卒業者及び家族等の自主活動を支援し、自立、余暇活動の充実、仲間づくりにつなげる。 <実施状況> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催をすべて中止した。					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28 A	H29 A	H30 A	R1 B	R2 -
		令和3年度の方向性(Action)					
		高齢化、参加者の減少により団体の自主活動の継続が困難になったことから本講座の開催については見合せ、今後は関係課等からニーズ等の把握により対応していく。					
松戸の教育 参考ページ	P78 [その他の状況] 青年学級						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
(各種講座開催提供事業再掲) (P324)	生涯学習推進課	【まつど生涯学習大学講座】 60歳以上の人を対象に、自らの生活課題や社会的課題に即した学習をもとに、地域の主体的な行動者となることを期して開催する。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		まつど生涯学習大学講座は、前年度の提案委員会において検討したテーマをもとに開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28 A	H29 A	H30 A	R1 A	R2 -
		令和3年度の方向性(Action)					
		まつど生涯学習大学講座は、自立した市民の育成を目的に、暮らしにかかわる学びをテーマとして、現代社会の様々な生活課題、地域の歴史や伝統文化、行政の仕組みなどを学習できる講座を実施する。受講者がその後、積極的に生涯学習や地域活動に参加できる仕組みづくりを行う。					
松戸の教育 参考ページ	P64 [まつど生涯学習大学講座] [令和2年度まつど生涯学習大学講座プログラム]						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
家庭教育力向上事業（P34）（子育て学習開催）	生涯学習推進課	家庭の教育力回復支援事業の一環として、孤立した環境の中で子育てをしている市民や育児に参加する時間の少ない保護者に、子育てに関する情報や学習の機会を提供し、参加をサポートする。						
		令和2年度の実施状況(Do)						
		〈実施内容〉 未就学児の保護者を対象とし幼保小の連携により、就学期に向けて必要とされる内容などの学びの機会を提供する。 〈実施状況〉 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)		H28	H29	H30	R1	R2
		A		A	A	A	A	-
		令和3年度の方角性(Action)						
		幼児教育課、保育課等と連携し、就学前に必要な情報等についての学びの機会を提供する。						
松戸の教育 参考ページ		—						

《 施 策 》

(4)松戸の歴史・文化・伝統を学習する活動の推進

施策(4) 総合評価 (事業課数 7)											
評価の割合	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	1/8	12.5%	2/7	28.6%	5/7	71.4%	5/7	71.4%	4/7	57.1%	A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	7/8	87.5%	5/7	71.4%	2/7	28.6%	2/7	28.6%	3/7	42.9%	
C	0/8	0.0%	0/7	0.0%	0/7	0.0%	0/7	0.0%	0/7	0.0%	

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
文化財保護事業 (P35)	社会教育課	文化財の保護啓発活動に努めるとともに、学習資料として文化財マップの作成、埋蔵文化財調査報告書の刊行、史跡めぐりや講座などを行う。学校教育と連携し、市内小中学校教材「のびゆく松戸市」「われらの松戸」に市内の文化財等を紹介する。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		<p>松戸の歴史、文化、伝統を学習する活動の学習資料として、文化財マップの配布、埋蔵文化財調査報告書の刊行を行った。さらに、文化財の保護啓発活動のため、松戸市ホームページへの掲載や雑誌掲載の記事提供などを行った。コロナ禍により、例年実施している史跡めぐりは実施できなかったが、その代替りになる事業として文化財クイズラリーを実施し、全問正解者は史跡めぐり1回分に相当する人数となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ R2 : 史跡めぐり→コロナ禍により中止 代替事業として文化財クイズラリーを実施 全問正解者53人 R1 : 史跡めぐり参加者数 延べ89人 (3回(6日間)開催[内1回は親子史跡めぐり]) ・ R2 : 新規刊行物 報告書2種類 R1 : 新規刊行物 報告書2種類 					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			B	B	B	B	B
		令和3年度の方角性(Action)					
文化財に関しては、個人から団体の学習まで幅広く、また専門的な相談への対応が必要になっているので、担当職員のさらなる知識修得が課題である令和3年度は職員の知識のさらなる習得や史跡めぐり等の実施により啓発と学習活動の推進を図っていく。							
松戸の教育参考ページ	P55 (2)文化財保護						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
博物館学習支援事業 (P35)	博物館	歴史講座等の開催、デジタル情報の提供、学校教育との連携などを図り、松戸の歴史・文化等に関わる最新情報を様々な媒体を通して提供する。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		松戸市の歴史・文化の講座及び学校教育での博物館の利用を促進するため見学会を行うなど学校教育との連携を深めている。 ・歴史講座 R2年度:吾妻鏡を読むのみ開催、延べ119人(5回開催) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、他講座は中止。 R1年度:古文書を読む「近世入門編」他3講座 延べ221人(17回開催) ・見学(学習活動) R2年度:(常設展示観覧者) 延べ1,170人 R1年度:(常設展示観覧者) 延べ1,201人					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			B	A	A	A	A
		令和3年度の方角性(Action)					
		学芸員の専門性を生かした講座の充実を図り、講座を通して郷土の歴史や文化を伝えていくとともに、学校が博物館を利用する機会を増やし、博学連携が進展するように取り組んでいく。 また、デジタルミュージアムを開設し、戸定歴史館と連携してインターネット上で資料の公開を行い、幅広い世代に活用いただけるよう進めていく。					
松戸の教育 参考ページ	P24 博物館学習支援事業						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
博物館歴史資産収集調査事業 (P35)	博物館	松戸を中心とする歴史・文化等に関する資料の収集・保存および調査研究を行い、市民の共有の資産として後世に伝える。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		博物館資料として寄贈・寄託を受け、収集・保存を行うなど、市内所在における古文書の調査を実施した(古文書調査委託)。また、資料研究の成果として紀要第28号を発行した。 ・寄贈 R2年度(3件・104点) R1年度(4件・843点) ・寄託 R2年度(1件・531点) R1年度(3件・1,758点)					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			B	B	A	A	A
		令和3年度の方角性(Action)					
		博物館資料の収集に伴って調査・研究を行い、その成果を展覧会・講演会・講座等を実施することで、多くの市民が関心を持ち、まつどに愛着を持てるよう進めていく。					
松戸の教育 参考ページ	P24 博物館歴史資産収集調査事業						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
市史編さん事業(P35)	博物館	市民が郷土の歴史についての理解を深め、郷土に対する誇りをより一層高められるよう、松戸市史の編さんを行う。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		市長から諮問のあった『松戸市史上巻』改定事業が終了し、市史編さん委員は平成28年6月30日をもって任期満了となっている。					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28 B	H29 事業終了	H30	R1	R2
		令和3年度の方向性(Action)					
		市史編纂委員会からの意見により、今後の『松戸市史』編さん事業については専門の組織を立ち上げて、長期計画のもとで慎重に進める。					
	松戸の教育参考ページ	—					

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
図書館(郷土資料提供)(再掲)事業(P32)(P35)	図書館	郷土資料等の郷土の歴史と文化に関する資料を積極的に収集・保存し提供する。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		<ul style="list-style-type: none"> 郷土資料の収集を積極的に行い、蔵書の充実を図った。 郷土資料の受入冊数 R2:570冊 R1:552冊 郷土資料の寄贈を受け、歴史及び文化を伝承するための蔵書構築に努めた。 博物館の企画展開催に合わせて、調べ案内(パスファインダー)を作成・配布し、関連図書の展示を行った。 					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28 B	H29 B	H30 A	R1 A	R2 B
		令和3年度の方向性(Action)					
		引き続き、積極的な資料の収集に努める。また、市民が利用しやすい資料の配置やリスト等の作成を行い、資料の利用につなげる工夫に継続して取り組む。					
	松戸の教育参考ページ	—					

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
美術文化関係事業(P36)	社会教育課	美術館等の開設を準備するとともに、松戸ゆかりの美術についての調査及び優れた美術品等の収集、保存、公開を行う。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		<p>松戸ゆかりの美術作品や資料等についての調査、収集、保存管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査 : 松戸ゆかりの美術家の作品調査 追加調査: 6人(R1年度2人) 松戸の美術作家に関するアンケート調査 追加調査: 6人(R1年度9人) ・収集 : 寄贈23点(R1年度: 寄贈34点) ・保存 : 美術作品、資料等の整理、燻蒸業務、修復業務、保管業務 ・公開 : ◎「松戸のたからもの 松戸市の美術コレクション」の開催 <ul style="list-style-type: none"> ◆期間 : 令和2年7月23日(祝・木)から8月30日(日) ◆場所 : 市立博物館企画展示室 ◆出品作家: 松岡 壽 他17人(洋画、版画等7ジャンル) ◆出品数 : 95点及び参考資料9点 <p>◎「松戸の作家の個展」の開催 ※詳細は「10基本目標3施策(3)」に記載 ◎常盤平第二小学校においてポスター等のグラフィックデザインを展示した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆期間 : 令和3年2月22日(月)から3月12日(金) ◆場所 : 常盤平第二小学校 図書室廊下 ◆出品作家: 大橋正(グラフィックデザイン) ◆出品数 : 7点 <ul style="list-style-type: none"> ・その他: 『板倉鼎・須美子書簡集』の販売開始 市内外3書店等(良文堂書店・smokebooks・藝大アートプラザ) 					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
		B	B	B	B	B	B
		令和3年度の方向性(Action)					
<p>令和2年度に引続き、以下のとおり実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査 : 松戸ゆかりの作家の作品調査及び松戸の美術作家に関するアンケート調査の実施 ・保存 : 美術作品、資料等の整理を実施 ・公開 : 森のホール21において「松戸の作家の個展」を4回開催 公共施設において「松戸の作家の紹介講座」を1回開催 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保存 : 未受入の美術作品や美術関係図書等の整理 適切な環境で美術作品等を保存できる場所の不足 ・公開 : 市所蔵資料等を公開する場所の不足 							
松戸の教育 参考ページ	P61 (3)美術館準備室						

《 施 策 》

(5) 人間としての尊厳を大切にした多文化共生の学習機会の提供

施策(5) 総合評価(事業課数3)											
評価の割合	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	3/3	100%	3/3	100%	3/3	100%	3/3	100%	1/1	100%	A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	0/3	0.0%	0/3	0.0%	0/3	0.0%	0/3	0.0%	0/1	0.0%	
C	0/3	0.0%	0/3	0.0%	0/3	0.0%	0/3	0.0%	0/1	0.0%	

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
人 権 学 習 の 推 進 (P 3 6)	生 涯 学 習 推 進 課	自分や自分以外すべての人たちの人権や生き方を考える講座や、直接的に人権をテーマとしていない講座であっても、可能な限りプログラムに人権課題を加えた講座を実施する。						
		令和2年度の実施状況(Do)						
		<実施内容> 松戸市の人権尊重都市宣言に基づき、男女共同参画や多文化共生、こども、高齢者、障害者などの人権が尊重される地域社会を担う市民の育成、学びの環境を整備する。						
		<実施状況> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全て中止したが、人権について学ぶための映像教材等の貸出のみ実施した。 人権ジャンルの映像教材等の貸出件数： 1件						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)		H28	H29	H30	R1	R2
				A	A	A	A	-
		令和3年度の方角性(Action)						
市長部局、教育委員会、人権擁護委員協議会と協力、連携して、人権講座を実施する。併せて、まつど生涯学習大学講座、家庭教育学級をはじめ、市長部局が開催する講演会等において、様々な人権をテーマにした学習の機会を提供する。								
松戸の教育参考ページ		P63 [市民大学講座] P64[令和2年度まつど生涯学習大学講座プログラム] P66 (2)家庭教育学級等の状況						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
青少年会館学習機会提供事業 (P36)	生涯学習推進課	<p>【国際交流事業】 諸外国の生活・文化・風習に触れ、国際的な視野を広げ、人権や平和についても考える交流学習の機会を提供する。</p>						
		令和2年度の実施状況(Do)						
		<p>〈実施内容〉 【多文化共生の学びの推進】 多文化共生についての学びの機会や環境を整備し、青少年育成を図る。</p>						
		<p>〈実施状況〉 【国際交流事業】 国際交流員 ギテレス ハビア 氏などによる「本は心の冒険～英語いっぱい読み聞かせ＆ワークショップとアメリカの文化にふれる～」講座を実施。 英語での絵本の読み聞かせやアメリカの文化の紹介を通して、異国の文化や歴史の一端を理解すると共に、世界の国々に関心をもつ契機となった。</p>						
		受講者:延べ32名						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)		H28	H29	H30	R1	R2
				A	A	A	A	A
令和3年度の方角性(Action)								
引き続き、諸外国の生活・文化・風習に触れられるような学習機会を提供する。								
松戸の教育参考ページ		P78 [その他の状況] 国際交流事業						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
おもてなしボランティア養成事業 (P36)	生涯学習推進課	<p>日本人固有のおもてなし文化を広め、国際性豊かで内外の人々に信頼と尊敬がえられる活動の中心となるボランティアを養成する。</p>						
		令和2年度の実施状況(Do)						
		オリンピック等を想定し、観光協会との連携で始めた事業であったため中止とした。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)		H28	H29	H30	R1	R2
				A	A	A	A	-
		令和3年度の方角性(Action)						
		当初の事業目的が新型コロナウイルス感染症拡大防止等により無くなったため、事業としては終了とする。						
松戸の教育参考ページ		P64[ふるさと発見創造講座]						

《 施 策 》

(6)市内各大学や民間団体などと連携した学習機会の提供

施策(6) 総合評価(事業課数3)											
評価の割合	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	2/3	66.7%	2/3	66.7%	2/3	66.7%	2/3	66.7%	1/2	50.0%	A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	1/3	33.3%	1/3	33.3%	1/3	33.3%	1/3	33.3%	1/2	50.0%	
C	0/3	0.0%	0/3	0.0%	0/3	0.0%	0/3	0.0%	0/2	0.0%	

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
学 (各種講座開催) 提供 (一部再掲) 業 (P32) (P37)	生 涯 学 習 推 進 課	【市民大学講座】 現在社会のさまざまな課題を取り上げ、地元大学や民間団体とも連携を取りながら開催する。						
		令和2年度の実施状況(Do)						
		市民に市内大学の施設を会場として、現代社会の様々な課題について、より専門性の高い内容の講座を提供するとともに、各大学の地域貢献活動に協力することを目的として、企画・実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止及び各大学との調整の結果全面的に中止した。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)		H28	H29	H30	R1	R2
				A	A	A	A	-
		令和3年度の方角性(Action)						
		引き続き、市内大学との連携講座を実施していく。学習テーマや講師によって受講数に差が生じていることから、受講者アンケートの結果を大学側に提供し、市民ニーズを捉えた市民大学講座の企画運営に努める。						
松戸の教育 参考ページ		P63 [市民大学講座]						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
地元の大学との連携方策の検討（P37）	社会教育課	市内各学が行う社会教育にかかわる学習機会の提供事業や各大学との連携により、市内の社会教育をより充実するための効果的なあり方について検討する。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		文化財については、文化財保護啓発活動や文化財調査に際し、市内ほか各大学の専門教員と連携するとともに報告書等を大学に送付し、情報共有を図った。					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			B	B	B	B	B
		令和3年度の方角性(Action)					
文化財については、さらなる内容の充実を志向していくことが課題である。令和3年度も継続して市内他近隣の大学と連携して情報共有を行い、文化財調査や保護・活用に向けた協力体制構築を検討していく。							
	松戸の教育参考ページ	—					

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
地元の大学との連携方策の検討（P37）	生涯学習推進課	市内各大学が行う社会教育にかかわる学習機会の提供事業や各大学との連携により、市内の社会教育をより充実するための効果的なあり方について検討する。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		公民館運営審議会の委員に市内大学の学識経験者が加わることにより、市民大学講座の開催や各種講座への講師紹介等、大学との様々な連携協力の可能性を含め、市民の生涯学習活動の更なる推進に向けて、意見や助言を頂いた。					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			A	A	A	A	A
		令和3年度の方角性(Action)					
引き続き、公民館運営審議会の学識経験者の意見や助言を活かし、各大学との効果的な連携協力の在り方を検討し、市民のニーズに応えられる事業の実施に努める。							
	松戸の教育参考ページ	P110 [公民館運営審議会委員]					

【基本目標2】 市民を惹き付け、広く行き渡る情報提供・相談

〈施策〉

(1)情報の周知、情報を得る方策への配慮

施策(1) 総合評価(事業課数 16)													
評価の割合		H28		H29		H30		R1		R2		解説	
A		9/16	56.3%	9/16	56.3%	11/16	68.8%	11/16	68.8%	11/16	68.8%		A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B		6/16	37.5%	6/16	37.5%	5/16	31.2%	5/16	31.2%	5/16	31.2%		
C		1/16	6.2%	1/16	6.2%	0/16	0.0%	0/16	0.0%	0/16	0.0%		

事業名	担当課	事業内容(Plan)												
広報活動の推進(P38)	社会教育課	<p>社会教育行政が行う市民を対象とした社会教育事業が広く市民に行き渡るよう、広報紙やホームページなどによる広報活動の充実を図る。</p>												
		令和2年度の実施状況(Do)												
		<p>平成29年6月に旧齋藤邸が国の登録有形文化財に登録され、広く市民に生涯学習の場として活用して頂けるよう、松戸市ホームページへの掲載や広報まつど等への掲載をしてきたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、各種イベントの中止を決定した。これに対応する施策として旧齋藤邸PR動画を作成し、松戸市ホームページでの公開による周知を図った。</p>												
		<p>文化財の保護・啓発では、松戸市ホームページへの掲載、文化財標識柱・説明板の設置、更新を行い、また学習資料として文化財マップの配布を実施した。文化庁、千葉県文化財課へも文化財の指定状況や活用状況を情報提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財マップ配布数 R2:598部 (R1:355部) ・文化財標識柱・説明板設置数 R2:138ヶ所(新規1ヶ所、撤去1ヶ所) R1:138ヶ所(更新2ヶ所) 												
		<p>美術関係では、展覧会「松戸のたからもの 松戸市の美術コレクション」の開催情報について、ポスターの市内各駅、列車内、市ホームページや電子モニター等へ掲出した。出品作品については、無料の小冊子を作成し、観覧者と市内外関係機関へ頒布した。また、新規の試みとして、展覧会を観覧することができなかった方等のため、会場風景と出品作品の解説を動画で作成し、会期終了後に松戸市ホームページにて公開した。「松戸の作家の個展」については、4回の開催情報を、市ホームページや広報まつど電子モニター等に掲出し、広く周知を図った。併せて、会期毎にリーフレットを作成し、市内外関係機関へ配布した。</p>												
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)</th> <th style="width: 10%;">H28</th> <th style="width: 10%;">H29</th> <th style="width: 10%;">H30</th> <th style="width: 10%;">R1</th> <th style="width: 10%;">R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">B</td> </tr> </tbody> </table>	担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2	B	B	B	B	B	B
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2							
		B	B	B	B	B	B							
		令和3年度の方角性(Action)												
		<p>旧齋藤邸でのイベントの開催については引き続き慎重な判断を要するところであるが、PR動画の活用を含めた実施可能な周知方法により、広報活動の充実を図っていく。</p>												
<p>文化財については、情報を整理し、より市民目線でわかりやすい情報提供や成果物を志向していく。</p>														
<p>「松戸の作家の個展」開催情報については、松戸市ホームページや広報まつど、電子モニター等に掲出し、周知を図る。併せて、会期毎にリーフレットを作成し、市内外関係機関等へ配布する。新規に開催する「松戸の作家の紹介講座」についても、「松戸の作家の個展」と同じく多くの市民に開催情報が行き渡るよう周知に努める。</p>														
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">松戸の教育参考ページ</td> <td> P57 指定・登録文化財 P58～60文化財標識柱・説明板設置場所数、設置場所一覧 </td> </tr> </table>	松戸の教育参考ページ	P57 指定・登録文化財 P58～60文化財標識柱・説明板設置場所数、設置場所一覧												
松戸の教育参考ページ	P57 指定・登録文化財 P58～60文化財標識柱・説明板設置場所数、設置場所一覧													

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
広報活動の推進(P38)	生涯学習推進課	社会教育行政が行う市民を対象とした社会教育事業が広く市民に行き渡るよう、広報紙やホームページなどによる広報活動の充実を図る。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		市のホームページ、広報、ツイッター、パンフレット、チラシによる情報発信に加え、地域に根ざしたタウン情報誌へ情報提供を行った。 また、家庭教育に関する情報については、松戸市版幼児家庭教育パンフレットの配布に加え、ケーブルテレビ、デジタルサイネージ、ユーチューブで動画を配信しPRをした。					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			A	A	A	A	A
		令和3年度の方角性(Action)					
		引き続き、様々な媒体を活用し各種生涯学習事業に関する情報が多くの市民に伝わるよう創意工夫をして行く。					
	松戸の教育参考ページ	—					

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
広報活動の推進(P38)	市民会館	社会教育行政が行う市民を対象とした社会教育事業が広く市民に行き渡るよう、広報紙やホームページなどによる広報活動の充実を図る。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		市ホームページ、広報まつど、パンフレット、ポスター、チラシによる情報発信に加え、市公式ツイッターへ積極的に投稿した。					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			A	A	A	A	A
		令和3年度の方角性(Action)					
		引き続き情報を発信し、新たな集客に繋がる広報活動をしていく。					
	松戸の教育参考ページ	—					

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
広報活動の推進 (P38)	図書館	社会教育行政が行う市民を対象とした社会教育事業が広く市民に行き渡るよう、広報紙やホームページなどによる広報活動の充実を図る。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		<ul style="list-style-type: none"> ・広報戦略チームの活動を継続し、松戸市立図書館本館設置看板のリニューアル、図書館パンフレットの作成・配布を行うなど、来館者が利用しやすい施設環境の整備及び図書館サービスの認知度向上のための積極的な活動を行った。 ・SNSを活用した広報活動として、Facebookを利用した。テーマ展示や、イベント等の周知のほか、図書館の投稿をフォローするように広報広聴課に依頼するなど、閲覧数の増加に努めた。 ・新型コロナウイルスの拡大に際し、市・県・国の有用な情報をまとめたリンク集を更新し、市民が必要とする情報を入手しやすくする工夫を行った。 					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			B	B	A	A	A
		令和3年度の方角性(Action)					
		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、広報戦略チームの活動を継続し、図書館パンフレットの作成等を行う。 ・SNSを活用した広報活動を継続するとともに、更新回数を増やすなど、閲覧数の増加のための工夫を行う。 					
松戸の教育参考ページ	—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
広報活動の推進 (P38)	戸定歴史館	社会教育行政が行う市民を対象とした社会教育事業が広く市民に行き渡るよう、広報紙やホームページなどによる広報活動の充実を図る。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		広報まつど・市ホームページでの広報活動のほか、取材対応、写真・収蔵資料貸出など積極的な情報発信に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> ・収蔵写真等使用許可件数：58件（前年度41件） ・戸定歴史館ホームページアクセス数：74,741件（前年度70,930件） 					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			A	A	A	A	A
		令和3年度の方角性(Action)					
		広報まつど・市ホームページ等の基本的な広報活動のほか、SNS等による情報発信の強化、また積極的な取材対応、写真・収蔵資料貸出などを実施する。					
松戸の教育参考ページ	—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
広報活動の推進(P38)	博物館	社会教育行政が行う市民を対象とした社会教育事業が広く市民に行き渡るよう、広報紙やホームページなどによる広報活動の充実を図る。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		博物館の年間スケジュールを一覧できる「年間行事案内」、展覧会ポスター・チラシを作成して市内外の学校やその他の関係機関、鉄道会社の駅等に掲示・配布したり、マスコミに情報提供を行っている。 令和2年度より3つのSNSを開設し、更に広報PRの強化を図るとともに、21世紀の森と広場、博物館、森ホール21の3施設協働でパンフレットやポスターなどを作成し、一体となった広報活動を行った。					
		・観覧者数 R2年度:常設展示[総合展示・主題展示]延べ12,389人、企画展示等 延べ12,020人 R1年度:常設展示[総合展示・主題展示]延べ12,666人、企画展示等 延べ14,381人)					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			B	B	A	A	A
		令和3年度の方角性(Action)					
より効果的で広域的な情報提供を進めるため、ホームページやSNS等のデジタルメディアの活用等により幅広い世代に情報を発信し、更なる広報戦略の研究を行うなど積極的な広報活動の拡充を行っていく。また、3施設でのPR方法も工夫を凝らし、進めていく。							
松戸の教育参考ページ	P92・93 観覧者状況						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
まつどまなびいネット(P38)	生涯学習推進課	社会教育関係団体、自主企画団体、生涯学習支援ボランティア、家庭教育学級の情報を登録し、市民がこれらの情報を知ることによって、生涯学習活動への参加機会を広げ、生涯学習活動が更に活性化していくことを目指して開設するインターネット情報サイトの充実。社会教育関係団体等への操作方法を含めた研修を行い、「まつどまなびいネット」の利用促進を図る。 (まつどまなびいネット) http://www.matsudo-s-edu.jp					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		・アクセス数 R2:17,162件 R1:21,795件					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			B	B	B	B	B
		令和3年度の方角性(Action)					
		運用の全面的な見直しを行うとともに、利用している団体に対してアンケート調査を実施し、実態を確認ながらより使いやすいレイアウト変更やシステムの再構築を検討していく。					
松戸の教育参考ページ	—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
図書館 管理運営 事業 (P32) (再掲)	図書館	従来の図書資料だけでなく、行政資料や各種団体が発行するパンフレットなどを含め、課題の解決に必要な情報を広く提供する。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		<ul style="list-style-type: none"> 市民の自主的なレファレンスの一助となるよう、講座・展示に合わせた資料リストの作成・提供を行った。 松戸市および近隣市町村、および千葉県に関する行政資料を積極的に収集し、提供した。特に、松戸市に関する行政資料を配置する「市政情報コーナー」(本館3階)のさらなる充実を図り、その所蔵数の増加に努めた。 市政情報コーナー所蔵数 R2:796冊 R1:754冊 					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			B	B	B	B	B
		令和3年度の方向性(Action)					
<ul style="list-style-type: none"> 調べ案内(パスファインダー)など、市民の自主的なレファレンスの一助となる資料の作成を積極的に行う。 引き続き、松戸市および近隣市町村、および千葉県に関する行政資料の収集を進めるとともに、「市政情報コーナー」の充実を図る。 各種団体や機関が発行するパンフレットなどを、可能な限り収集できるように努める。 							
松戸の教育 参考ページ	—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
行事内容に即した対象者への情報発信の強化 (P38)	博物館	展覧会・講座・講演会等の行事について、目的・内容に合わせて、興味・関心をもつと想定される対象者を選定し、情報の発信・提供の強化を図る(学習資料展「昔のくらし探検」:小学校への周知・校長会等でのPR、デイケアサービス等の福祉施設への広報など)。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		博物館の魅力を伝えるため、博物館の様々な事業に関する情報提供を行った。 <ul style="list-style-type: none"> 市長記者会見 R2年度:3回(学習資料展、企画展、渋沢栄一関連企画) R1年度:4回(館蔵資料展3回、企画展) 広報まつど R2年度:3回(館蔵資料展2回、企画展) R1年度:4回(館蔵資料展3回、企画展) ※講座・講演会は随時掲載 鉄道等公共交通機関の掲示 毎年展覧会ごとに掲示 					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			A	A	A	A	A
		令和3年度の方向性(Action)					
博物館HP、SNS、市長記者会見、広報まつど、ミニコミ誌、デジタルサイネージ、鉄道等公共交通機関(ポスター・ちらし)、市内小中高等学校(ポスター・ちらし)等、また新しい生活様式に対応した独自のコンテンツにより、自宅でも楽しめる情報を発信し博物館の魅力を提供していく。							
松戸の教育 参考ページ	—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
行事開催に伴うポスター掲示 (P39)	教育企画課	教育施策の推進上有益と認めた行事(共催)、また市民に対する学習機会の提供と認めた行事(後援)等については、団体の申請に基づき、市民センター、図書館・分館及び社会教育施設にポスターを掲示する。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		後援承認した行事のポスター掲示があった場合、市民センターや社会教育施設に提出を依頼し、当該行事の周知に努めた。 ・後援件数…10件 ・ポスター・チラシ提出…2件					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28 C	H29 C	H30 B	R1 B	R2 B
		令和3年度の方角性(Action)					
		各課においてポスター申請の事務の流れが統一されておらず、申請者(市民)にとって混乱を招きやすい状況にある。教育委員会から学校へポスター・チラシ配布について共通方法が定まったら、後援に係るポスター申請業務を整える。					
	松戸の教育参考ページ	—					

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
行事開催に伴うポスター掲示 (P39)	社会教育課	教育施策の推進上有益と認めた行事(共催)、また市民に対する学習機会の提供と認めた行事(後援)等については、団体の申請に基づき、市民センター、図書館・分館及び社会教育施設にポスターを掲示する。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		社会教育に関する情報が各市民に行き渡るよう、松戸市民に対する学習機会の提供になると認めた行事について、後援を行うとともに、社会教育施設等へのポスター掲出依頼を通じて後援行事の周知に努めた。 ・後援承認件数 R2:29件、R1:66件 ・ポスター配布件数 R2:8件、R1:15件					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28 B	H29 B	H30 B	R1 B	R2 B
		令和3年度の方角性(Action)					
		有益な行事については、引き続き後援、周知による支援を行っていく。各施設へのポスター掲出依頼は行なっているが、施設ごとの掲示状況は把握できていない。					
	松戸の教育参考ページ	—					

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
行事開催に伴うポスター掲示 (P39)	市民会館	教育施策の推進上有益と認めた行事(共催)、また市民に対する学習機会の提供と認めた行事(後援)等については、団体の申請に基づき、市民センター、図書館・分館及び社会教育施設にポスターを掲示する。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		掲示エリアのスペースも限られており、掲示にあたっては優先順位を考慮しながら掲示を行った。					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			A	A	A	A	A
		令和3年度の方角性(Action)					
年々掲示依頼も増えており、掲示にあたっては今後も優先順位を考慮し、掲示期間も明確にする。							
松戸の教育 参考ページ	—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
行事開催に伴うポスター掲示 (P39)	生涯学習推進課	教育施策の推進上有益と認めた行事(共催)、また市民に対する学習機会の提供と認めた行事(後援)等については、団体の申請に基づき、市民センター、図書館・分館及び社会教育施設にポスターを掲示する。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		社会教育関係団体からの申請に基づいたポスター掲出 R2 : 12件 (内共催0件) R1 : 111件 (内共催1件)					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			A	A	A	A	A
		令和3年度の方角性(Action)					
引き続き、社会教育関係団体の申請に基づきポスターを掲示していく。							
松戸の教育 参考ページ	—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
行事開催に伴うポスター掲示 (P39)	図書館	教育施策の推進上有益と認めた行事(共催)、また市民に対する学習機会の提供と認めた行事(後援)等については、団体の申請に基づき、市民センター、図書館・分館及び社会教育施設にポスターを掲示する。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		主催団体及び関係課から依頼を受けたものについては、本館および市内19分館において、各館の掲示スペースの範囲内で掲示を行った。分館については、会計年度任用職員のみでの配置のため、予め市の共催、後援行事に関するものは掲示可とする旨を通知し、円滑な対応に努めた。					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			A	A	A	A	A
		令和3年度の方角性(Action)					
		・開催される行事の数に対し、各館での掲示スペースが不足しているため、全ての依頼への対応が困難であることが恒常的な課題となっている。引き続き、可能な範囲での掲示を継続する。					
	松戸の教育参考ページ	—					

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
行事開催に伴うポスター掲示 (P39)	戸定歴史館	教育施策の推進上有益と認めた行事(共催)、また市民に対する学習機会の提供と認めた行事(後援)等については、団体の申請に基づき、市民センター、図書館・分館及び社会教育施設にポスターを掲示する。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		教育施策の推進上有益と認めた行事(共催)、また市民に対する学習機会の提供と認めた行事(後援)等については、歴史館や戸定邸内にポスターやチラシの掲示を行った。					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			A	A	A	A	A
		令和3年度の方角性(Action)					
		引き続き、ポスター掲示等の依頼があれば、内容の確認をした上で掲示等を行う。					
	松戸の教育参考ページ	—					

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
行事開催に伴うポスター掲示 (P39)	博物館	教育施策の推進上有益と認めた行事(共催)、また市民に対する学習機会の提供と認めた行事(後援)等については、団体の申請に基づき、市民センター、図書館・分館及び社会教育施設にポスターを掲示する。						
		令和2年度の実施状況(Do)						
		教育施策の推進を図るため、博物館内においてポスター等の掲示を行った。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)		H28	H29	H30	R1	R2
				A	A	A	A	A
		令和3年度の方向性(Action)						
		引き続き、博物館内においてポスター等の掲示を行い、教育施策の推進を図っていく。						
松戸の教育 参考ページ	—							

《施 策》

(2)ICTを活用した情報提供の促進

施 策 (2) 総 合 評 価 (事 業 課 数 3)											
評価の割合	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	1/3	33.3%	2/3	66.7%	2/3	66.7%	1/3	33.3%	1/3	33.3%	A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	2/3	66.7%	1/3	33.3%	1/3	33.3%	2/3	66.7%	2/3	66.7%	
C	0/3	0.0%	0/3	0.0%	0/3	0.0%	0/3	0.0%	0/3	0.0%	

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
(ま 戸 市 つ 生 涯 学 習 情 報 提 供 シ ス テ ム) (再 掲 ト (P 3 3 8 9))	生涯学習推進課	社会教育関係団体、自主企画団体、生涯学習支援ボランティア、家庭教育学級の情報登録し、市民がこれらの情報を知ることによって、生涯学習活動への参加機会を広げ、生涯学習活動が更に活性化していくことを目指して開設するインターネット情報サイトの充実。社会教育関係団体等への操作方法を含めた研修を行い、「まつどまなびいネット」の利用促進を図る。						
		令和2年度の実施状況(Do)						
		「まつどまなびいネット」でできることをまとめたリーフレットを作成し、一層の利用促進を図った。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)		H28	H29	H30	R1	R2
				B	B	B	B	B
		令和3年度の方向性(Action)						
		運用の全面的な見直しを行うとともに、社会教育関係団体等の利用している団体に対してアンケート調査を実施し、実態を確認しながらより使いやすいレイアウト変更やシステムの再構築を検討していく。 併せて、「まつどまなびいネット」の具体的な操作方法などを示すことで利用促進を図る。						
松戸の教育参考ページ						—		

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
図書館管理運営事業 (再掲事業) (情報化推進) (P32) (P39)	図書館	インターネットによる蔵書情報の公開、資料の予約、貸出し状況・予約状況の照会を行う。また、市民の調査研究等のため、市民が利用できるパソコンを整備し、インターネットや各種データベースの利用を図る。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		<ul style="list-style-type: none"> インターネットを利用した蔵書情報の公開、資料の予約、貸出し状況・予約状況の照会が障害なく行えるよう、必要な保守環境等を整えている。 新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休館中より、利用者が自宅で利用できるデータベースのパスワードを希望者に対して、メールで配布し、利用者の利便性向上を図っている。 					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			B	A	A	A	A
		令和3年度の方角性(Action)					
<ul style="list-style-type: none"> 令和3年12月に開館を予定している(仮称)東松戸地域館において、自動貸出機やセキュリティゲート等のICタグ関連機器を導入し、貸出のセルフ化による利用者サービスの充実や業務効率化及びセキュリティの向上を図る。 機器の耐用年数経過による故障リスクの増加、サーバやOSのメーカーサポート終了によるシステム障害を防ぐため、システムリプレイスを実施し、システム最適化を図る。 							
松戸の教育 参考ページ	—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
デジタル美術館 (P39)	社会教育課	松戸市教育委員会所蔵美術作品等に関する情報をいつでもどこでも見られるようにするため、松戸市ホームページ上に『デジタル美術館』を設ける。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		<p>松戸市教育委員会所蔵美術作品等に関する情報をいつでもどこでも見られるようにするため、「デジタル美術館」を設け、企画展や松戸の作家の展覧会情報、市立小中学校作品展等を随時更新した。</p> <p>また、令和2年度に開催した展覧会「松戸のたからもの 松戸市の美術コレクション」について、コロナ禍で展覧会場に来ることができなかった方等のため、新たに出品作品の紹介動画を松戸市ホームページにて公開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「松戸のたからもの 松戸市の美術コレクション」展覧会情報 「松戸の作家の個展」 松戸の作家の展覧会情報 3件 「第44回 松戸市小中学校造形作品展」1件 松戸市教育委員会所蔵美術作品 計234点 					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			A	A	A	B	B
		令和3年度の方角性(Action)					
<ul style="list-style-type: none"> 「松戸の作家の個展」や松戸の作家の展覧会情報等を掲載 松戸市教育委員会所蔵美術作品の追加掲載 常盤平第二小学校で開催した展示を掲載 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 松戸ゆかりの作家と作品を周知するため、既存コンテンツの充実(わかりやすい作品検索等)と新たな掲載項目の検討を行う。 							
松戸の教育 参考ページ	—						

《 施 策 》

(3) 学習相談体制の充実

施策(3) 総合評価(事業課数7)											
評価の割合	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	3/7	42.8%	4/7	57.1%	4/7	57.1%	4/7	57.1%	3/7	42.9%	A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	3/7	42.8%	3/7	42.9%	3/7	42.9%	3/7	42.9%	4/7	57.1%	
C	1/7	14.4%	0/7	0.0%	0/7	0.0%	0/7	0.0%	0/7	0.0%	

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
社会教育活動に資する学習相談体制の充実 (P40)	社会教育課	市民の社会教育活動に資するため、一人ひとりの具体的な学習内容、方法等の相談に応じる学習相談体制の充実を図る。						
		令和2年度の実施状況(Do)						
		学習支援専門員を配置し、小中学校等からの依頼を受け、主に美術関係の講座、授業補助のための講師派遣を行った。 ・ R2 : 11件 (小学校 9件、中学校 0件、その他 2件) ・ R1 : 47件 (小学校 37件、中学校 2件、その他 8件)						
		文化財については、個人的な学習支援、市民からの依頼による出前講座、教員等から文化財に関わる授業の相談など実施した。集団での学習時では、講師を務め、学習を深める相談を受けるなどした。 ・ パートナー講座実施回数 R2 : 1回 R1 : 4回 ・ 小学校授業(北部小学校) R2 : 1回 R1 : 1回						
		松戸ゆかりの美術作家に関する市民の興味・関心に応えるものとして、市民からの依頼による出前講座を設けている。 ・ パートナー講座実施回数 R2 : 0回 R1 : 2回						
		担当課による定性評価(3段階評価)(Check)		H28	H29	H30	R1	R2
				B	B	B	B	B
令和3年度の方角性(Action)								
文化財は、対象となる時代や地域、内容が広範囲にわたることから、職員は幅広く専門的な相談への対応が必要になっている。令和3年度はコロナ禍の状況を鑑み、随時相談を受けつつ、感染対策を行った上で内容により可能な範囲での対応を図っていく。特に個人的な学習支援の促進の強化を検討する。								
松戸ゆかりの美術作家については、新たなパートナー講座のメニューとして、令和元年度刊行した『板倉鼎・須美子書簡集』にちなんで「松戸ゆかりの画家、板倉鼎と須美子の作品と書簡」を設け、市民の学習活動の充実を図っていく。								
松戸の教育参考ページ		—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
社会教育活動に資する学習相談体制の充実 (P40)	生涯学習推進課	市民の社会教育活動に資するため、一人ひとりの具体的な学習内容、方法等の相談に応じる学習相談体制の充実を図る。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		新型コロナウイルス感染症による社会的な影響も含めて市民からの学習相談等は無く、相談としてのニーズは極めて低い。					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			B	A	A	A	A
		令和3年度の方向性(Action)					
学びの支援についてのニーズを改めて捉えなおし、社会環境の変化に即して、これまでの団体支援中心から個人の学びへの支援の充実などを図り、知の拠点としての学びの環境整備の事業へシフトする。							
松戸の教育参考ページ		—					

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
社会教育活動に資する学習相談体制の充実 (P40)	図書館	市民の社会教育活動に資するため、一人ひとりの具体的な学習内容、方法等の相談に応じる学習相談体制の充実を図る。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		<ul style="list-style-type: none"> レファレンスに対応できる職員数の維持、経験年数の蓄積を図るため、引き続きレファレンス窓口のローテーション制を維持するとともに、能力の向上に努めた。 レファレンス窓口の担当者 R2 : 6名 R1 : 6名 レファレンス経験年数平均 R2 : 3.5年 R1 : 3年 レファレンスサービスの質向上のため、参考図書を積極的に収集するとともに、レファレンスサービスの提供について積極的な案内を行った。 レファレンス処理件数※ R2 : 2,895件 R1 : 182件 ※令和3年1月より、レファレンスの集計方法を変更。 					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			B	B	B	B	B
		令和3年度の方向性(Action)					
<ul style="list-style-type: none"> 多様な相談に対応できるよう、職員研修の充実に努める。 より多くの市民にレファレンスを提供できるよう、サービスの提供について積極的な案内を行う。 							
松戸の教育参考ページ		P91 4 図書館[レファレンス状況]					

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
社会教育活動に資する学習相談体制の充実 (P40)	戸定歴史館	市民の社会教育活動に資するため、一人ひとりの具体的な学習内容、方法等の相談に応じる学習相談体制の充実を図る。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		学芸員のほか、ボランティアガイドを活用し来館者に文化財に対する造詣を深めてもらっているが、令和2年度はコロナ禍の影響により活動がかなり制限された。 また、市内小中学校の校外学習には学習支援専門員を中心に、積極的な対応を図った。					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			A	A	A	A	B
		令和3年度の方角性(Action)					
市民が文化財に対する造詣を深められるよう、感染症対策に配慮しつつ、ボランティアガイド、学習支援専門員を中心に、来館者への現場での解説のほか、オンラインや、紙芝居など多様なツールを用いた活動を行う。							
松戸の教育参考ページ		—					

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
社会教育活動に資する学習相談体制の充実 (P40)	博物館	市民の社会教育活動に資するため、一人ひとりの具体的な学習内容、方法等の相談に応じる学習相談体制の充実を図る。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		<ul style="list-style-type: none"> 市民からの対面・電話・メールによる学術的な相談への対応(学芸員)。 常設展示、企画展示・資料展示における展示解説および相談対応(学芸員)。 パートナー講座:R2年度0回、R1年度0回 					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			A	A	A	A	A
		令和3年度の方角性(Action)					
引き続き、学芸員の相談体制、図書閲覧コーナーでの相談、個人・団体からの相談を充実させる。また、博物館を学習の場として利用してもらえるような環境作りも検討していく。							
松戸の教育参考ページ		—					

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
社会教育推進事業 (社会教育指導員関係) (P40)	生涯学習推進課	市民の社会教育活動に資するため、一人ひとりの具体的な学習内容、方法等の相談に応じる学習相談体制の充実を図る。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		社会教育指導員については、家庭教育力向上事業及び青少年会館での学びの支援の担当として事業の企画及び実施に携わった。					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			A	A	A	A	A
		令和3年度の方角性(Action)					
		本来の目的及び現状に併せて事業を実施し、引き続き家庭教育事業の推進及び青少年への学びの支援を実施していく。					
松戸の教育参考ページ	—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
図書館管理運営事業 (レファレンスサービス) (P32)	図書館	市民の社会教育活動に資するため、一人ひとりの具体的な学習内容、方法等の相談に応じる学習相談体制の充実を図る。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		<ul style="list-style-type: none"> レファレンスに対応できる職員数の維持、経験年数の蓄積を図るため、引き続きレファレンス窓口のローテーション制を維持するとともに、能力の向上に努めた。 レファレンス窓口の担当者 R2 : 6名 R1 : 6名 レファレンス経験年数平均 R2 : 3.5年 R1 : 3年 レファレンスサービスの質向上のため、参考図書を積極的に収集するとともに、レファレンスサービスの提供について積極的な案内を行った。 レファレンス処理件数※ R2 : 2,895件 R1 : 182件 ※令和3年1月より、レファレンスの集計方法を変更。 					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			B	B	B	B	B
		令和3年度の方角性(Action)					
		<ul style="list-style-type: none"> 多様な相談に対応できるよう、職員研修の充実に努める。 より多くの市民にレファレンスを提供できるよう、サービスの提供について積極的な案内を行う。 					
松戸の教育参考ページ	P91 4 図書館[レファレンス状況]						

【基本目標3】 学習者の学習成果を地域に生かす仕組みづくり

《施 策》

(1) 地域の人材を発掘・育成し、活動を支援するシステムづくり

施策(1) 総合評価(事業課数6)											
評価の割合	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	2/6	33.3%	5/6	83.3%	6/6	100%	6/6	100%	1/3	33.3%	A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	4/6	66.7%	1/6	16.7%	0/6	0.0%	0/6	0.0%	2/3	66.7%	
C	0/6	0.0%	0/6	0.0%	0/6	0.0%	0/6	0.0%	0/3	0.0%	

事業名	担当課	事業内容(Plan)												
学 習 機 会 提 供 支 援 業 務 (P41)	生 涯 学 習 推 進 課	<p>【市民自主企画講座】 市民が自ら学んだ成果の発表の場として、生涯学習推進課と連携しながら市民自主企画講座を実施することで、共に学ぶボランティア活動促進につなげることを目的として開催する。また、テーマを持った市民同士のネットワークができるよう支援する。</p>												
		令和2年度の実施状況(Do)												
		<p>市民が自ら学び継続して活動する学習グループの成果発表の場として市民自主企画講座を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全団体との連携講座開催を中止した。</p>												
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)</td> <td style="width: 10%;">H28</td> <td style="width: 10%;">H29</td> <td style="width: 10%;">H30</td> <td style="width: 10%;">R1</td> <td style="width: 10%;">R2</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </table>	担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2		B	A	A	A	-
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2							
			B	A	A	A	-							
令和3年度の方角性(Action)														
<p>自主企画活動支援業務は、講座体系の見直しにより公民館各種講座開催業務に集約するため、より効果的、効率的な事業展開を図る。市民自主企画団体の自立を促し主体的に活動させることを目的として、支援範囲や制度設計の改善、見直しを行っていく。</p>														
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">松戸の教育 参考ページ</td> <td style="width: 70%; text-align: center;">—</td> </tr> </table>	松戸の教育 参考ページ	—												
松戸の教育 参考ページ	—													

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
市民文化活動支援事業 (P41)	生涯学習推進課	松戸市文化祭、美術展、書道展等社会教育関係団体の発表及び交流の場を提供することで、市民文化活動を支援する。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		社会教育関係団体の発表及び交流の場を提供し、市民文化活動を支援した。 ・第55回松戸市美術展覧会 令和2年6月11日～6月30日(文化ホール) →新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止した。 ・第72回松戸市文化祭 →新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止した。 文化祭参加団体の活動の様子を市のホームページ等で紹介した。 ・第47回松戸市書道展覧会 令和3年3月23日～3月28日(文化ホール) →出品者数 219人 観覧者数 470人					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			B	B	A	A	B
		令和3年度の方角性(Action)					
		引き続き、松戸市文化祭、美術展、書道展等社会教育関係団体の発表及び交流の場を提供する。新型コロナウイルス感染症拡大防止策を十分に講じながら、状況に応じて開催を検討していく。					
松戸の教育参考ページ	P67・68 (3)市民文化活動						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
幼児・児童の読書普及事業 (P41)	図書館	子どもの読書普及活動を行うボランティアを育成するための講座を開催する。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		・おはなしボランティア研修会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催方法を書面及びZOOMに変更し研修会を実施した。 R2：書面10回、ZOOM 13回(延参加者数128名) R1：20回(延参加者数1,869名) ・おはなしボランティア養成講座 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講座を中止した。 R2：中止 R1：5回(延参加者数172名)					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			A	A	A	A	B
		令和3年度の方角性(Action)					
		・子どもの読書普及活動を行うボランティアを育成するために研修を行う。 ・社会情勢を考慮し、開催方法を工夫しながら、講座・イベントを行うことを検討していく。 ・ボランティア団体自らがネットワークを構築し、活動を上げられるよう自主性を促していく。					
松戸の教育参考ページ	—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
文化 振興 財団 運営 費補 助 (P 4 1)	社 会 教 育 課	松戸市の市民文化の創造に寄与することを目的に設立された公益財団法人松戸市文化振興財団に対して運営費を補助し、多くの舞台芸術鑑賞の機会を提供する。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		公益財団法人松戸市文化振興財団に運営費を補助し、文化芸術活動を支援した。新型コロナウイルス感染症の影響により、公演の多くが中止となったため、人数は大幅に減少しているが、「著名ピアノ試奏会」等の開催などにより、引き続き松戸市の市民文化の創造、文化の振興に寄与することができた。					
		<ul style="list-style-type: none"> ・主催事業 R2年度 910人(4公演) ※著名ピアノ試奏会、世界のピアノ弾き比べ体験会 53人(各3回) ・主催事業 R1年度 9,269人(7公演) 					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			A	A	A	A	A
令和3年度の方角性(Action)							
新型コロナウイルス感染症への対策は継続が必要な状況にあるため、引き続き感染症対策と市民への舞台芸術鑑賞の機会の提供の両立について、松戸市文化振興財団と連携、検討を行っていく。							
松戸の教育 参考ページ		P103~104 社会教育施設利用状況 P106 9文化振興財団					

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
ま ち づ く り 人 材 育 成 支 援 事 業 (P 4 1)	生 涯 学 習 推 進 課	地域の課題等を見つけ解決していく手法を学び、地域活動に積極的に関わりリーダーとなる人材の育成を行う。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		松戸フューチャーセンター事業として、多様な人々が集まり未来志向の対話を通して課題の解決が図れる人材を育成するための講座を開催予定としていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全面的に中止した。					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			B	A	A	A	-
		令和3年度の方角性(Action)					
松戸フューチャーセンター事業は、令和3年度より見直しを行い、公民館各種講座開催業務の一環として実施する。学習プログラムや実施方法を工夫して、地域活動に積極的に関わる人材の育成に努める。							
松戸の教育 参考ページ		P71・72 (6)フューチャーセンター取組(セッション開催)状況					

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
(仮称)社会教育実践研究発表・交流事業 (P42)	社会教育課	社会教育関係団体等における社会教育活動の実践や研究成果について情報交換をするとともに、社会教育関係団体等のリーダーなどが相互に交流する「(仮称)社会教育実践研究発表・交流事業」のあり方を調査研究する。その成果と課題を踏まえながら事業の開催に努める。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		社会教育関係団体に関する事業展開については、生涯学習推進課で事業を実施、評価を行っており、社会教育課は評価対象外としております。					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			—	—	—	—	—
		令和3年度の方角性(Action)					
必要に応じて連携を図って参ります。							
	松戸の教育 参考ページ	—					

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
(仮称)社会教育実践研究発表・交流事業 (P42)	生涯学習推進課	社会教育関係団体等における社会教育活動の実践や研究成果について情報交換をするとともに、社会教育関係団体等のリーダーなどが相互に交流する「(仮称)社会教育実践研究発表・交流事業」のあり方を調査研究する。その成果と課題を踏まえながら事業の開催に努める。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		生涯学習講座の受講生や市民自主企画団体、社会教育関係団体、これから学習や地域活動を始め多くの市民を対象に、成果発表、事例発表の場として「まつど生涯学習フォーラム」を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			B	A	A	A	—
		令和3年度の方角性(Action)					
事業の目的である、社会教育関係団体の活動の成果の公開については「まつどまなびいネット」等情報発信の見直しを行い、各団体の創意工夫を生かした発信ができるように支援していく。交流や成果発表の場については市民文化祭等の行事が同様の目的となっているため、事業内容の見直しを図る。							
	松戸の教育 参考ページ	—					

《 施 策 》

(2)施設の整備及び施設連携や施設機能の活用方法の周知などによる利用促進

施策(2)総合評価(事業課数15)											
評価の割合	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	5/15	33.3%	5/15	33.3%	7/15	46.7%	7/15	46.7%	5/15	33.3%	A:施策の目標どおり推進できた B:施策について概ね順調に推進している C:施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	7/15	46.7%	9/15	60.0%	8/15	53.3%	8/15	53.3%	10/15	66.7%	
C	3/15	20.0%	1/15	6.7%	0/15	0.0%	0/15	0.0%	0/15	0.0%	

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
矢切公民館管理運営事業(P42)	生涯学習推進課	社会教育関係団体をはじめとした市民の主体的な学習活動を支援する社会教育施設として、学習の場を提供する。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		利用状況:1,293件[10,908人](内社会教育関係団体1,069件[9,039人]) 文化祭 音楽祭は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			B	B	B	B	B
		令和3年度の方針(Action)					
		引き続き、利用者が快適に学習活動等できるよう適切な管理運営に努める。 矢切地区に限らず、市内全域の利用促進を図る。文化祭・音楽祭については新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、かつ役員・団体と連携しながら、よりいっそうの内容の充実を図る。					
松戸の教育参考ページ	P65 [矢切公民館文化祭][矢切公民館音楽祭] P95 【矢切公民館】 P102 [矢切公民館]						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
タウン ス ク ー ル 管 理 運 営 事 業 (P 4 2)	生 涯 学 習 推 進 課	市立根木内小学校内の余裕教室を「タウンスクール根木内」として、地域の学習活動等に提供する。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		利用状況:281件[2,022人] (内社会教育関係団体3件[14人]) 老朽化に伴う雨漏り等の緊急対応を行った。					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			B	B	B	B	B
		令和3年度の方角性(Action)					
		老朽化に伴う雨漏り等の改善のため、屋上防水及び一部外壁工事を実施する。このほか防火シャッターの故障やトイレ等排水設備の改善などが課題となっており、施設の機能の見直しも含めて関係課等との検討を開始する。					
松戸の教育 参考ページ	P95 【タウンスクール根木内】 P102 【タウンスクール根木内】						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
青 少 年 会 館 管 理 運 営 事 業 (P 4 2)	生 涯 学 習 推 進 課	市内青少年の健全育成と教養の向上を図るために設置した施設であり、仲間づくりの場や学習機会を提供する。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		(実施内容) 青少年の体験や交流、学びの支援を行い青少年の健全育成を図る施設として学習機会の提供や安全安心かつ自由な居場所の提供を図る。					
		(実施状況) 施設の老朽化による修繕も継続的に発生しているが、その都度対応しているため利用ができなくなる等の状況には至っていない。 新型コロナウイルス感染防止に伴う閉館などにより施設利用者は減少に転じた。					
		R2: 利用件数・人数 本館:2,489件・30,297人 / 分館:482件・5,916人 R1: 利用件数・人数 本館:4,249件・78,034人 / 分館:957件・14,266人					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			B	B	B	B	B
令和3年度の方角性(Action)							
青少年の居場所として子どもたちが安全・安心・自由に利用でき、子どもの体験や交流と学びを支えるとともに子どもたちに寄り添うスタッフがいるような環境を整備する。 計画的に施設の老朽化に伴い、計画的な修繕等の対応を図る。 (R2 外壁改修等 / R3変圧器改修等)							
松戸の教育 参考ページ	P102 8社会教育施設利用状況(青少年会館本館・青少年会館分館)						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
図書館 管理運営 事業 (P32)	図書館	市民の暮らしに役立つ蔵書の充実を図るとともに、読む事の困難な方々への支援になる資料を整備する。また、市民の抱える課題の解決に資するため、レファレンスサービス等の充実を図る。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		<ul style="list-style-type: none"> 小さい字に読みづらさを感じる方が不自由なく読書を行えるよう、大活字資料の収集を進めた。 大活字資料所蔵数 R2:2,357冊 R1:2,278冊 さまざまな外部研修への職員の派遣及びオンライン受講を行うことで、レファレンス能力等、職員の専門性の向上を図った。 職員受講研修数(庁内研修除く) R2:21回 R1:39回 					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28 C	H29 B	H30 B	R1 B	R2 B
		令和3年度の方角性(Action)					
		<ul style="list-style-type: none"> 知識や情報への平等なアクセスを保障するため、大活字資料、外国語資料など多様な資料を収集するほか録音データベースとの新規連携を行う。また、令和3年度新設の東松戸地域館では、新たに対面朗読サービスを行うほか、障害者支援機器を設置する。 外部研修への職員派遣、および館内研修の充実に努め、専門的職員の資質向上を図る。 					
松戸の教育 参考ページ	—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
文化ホール 管理運営 事業 (P42)	生涯学習 推進課	市民の学習の場として、多様な文化活動の発表の場のために設置した施設であり、更なる利用の促進を図る。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		<ul style="list-style-type: none"> 美術展、書道展、写真展等の各種展覧会等の利用状況 文化ホール利用件数 R2:18件 R1:57件 利用人員 R2:4,495人 R1:41,859人 新型コロナウイルス感染症拡大予防として、飛沫感染予防シートの設置及びアルコール消毒液の準備を行った。さらに利用者に安心してご利用いただくため、「文化ホール感染拡大予防ガイドライン」を作成し、感染症対策に努めた。 					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28 B	H29 B	H30 B	R1 A	R2 B
		令和3年度の方角性(Action)					
		<p>引き続き、利用者ニーズに適切に応えて行く為、施設設備の維持管理に努め、一層の利用促進を図るとともに、新型コロナウイルス感染症拡大予防として、他類似施設や他市の感染症対策の情報を確認しながら、随時ガイドラインの更新や、感染対策を講じていく。</p> <p>また、令和3年7月より開館時間の延長に伴い、文化ホールの稼働率を上げていくため、積極的に広報活動を行っていく。</p>					
松戸の教育 参考ページ	P97【文化ホール】 P103【文化ホール】						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
市民劇場管理運営事業 (P43)	社会教育課	市民の芸術及び文化活動の場を提供するために設置した施設であり、さらに団体などの利用に供し、広く市民の活用の促進を図る。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		<p>管理運営面では、市民の利便性の向上を図るため、公益財団法人松戸市文化振興財団において、ホームページを適宜更新し、情報発信を行った。維持管理の面では、計画的な修繕や工事の実施により、市民が安全に利用できるよう努めた。そのほか、新型コロナウイルス感染症対策として、トイレ洗面所の自動水栓化及び小便器自動洗浄化修繕を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用状況 R2年度 13,370人 (917件) ・利用状況 R1年度 49,249人 (988件) 					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			A	A	A	A	A
		令和3年度の方角性(Action)					
		<p>日常的な点検及び計画的な管理、修繕により、引き続き市民に安全に利用していただく。修繕の実施にあたっては、予算の平準化や修繕に伴う休館日の調整など、関係各所との調整を図って進めていく。</p>					
松戸の教育 参考ページ	P103 8社会教育施設利用状況〔市民劇場〕						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
市民会館管理運営事業 (P43)	市民会館	ホール、会議室、ながいき室及びプラネタリウム室他を備えており、市民に文化・芸術の振興、生涯学習の普及及び地域コミュニティの場を提供する。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		<p>新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時閉館などにより、施設利用者は減少した。また、施設の老朽化に対する計画的な修繕を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホール、会議室等 R2年度 43,570人、R元年度 169,484人 ・プラネタリウム R2年度 5,848人、R元年度 10,791人 					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			B	B	B	B	B
		令和3年度の方角性(Action)					
		<p>竣工（昭和39年11月）後56年が経過し、建物・設備等の老朽化が著しいため、日々点検を行いながら計画性をもって修繕をしていく。 新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し、施設利用者への安全に努めていく。 新拠点ゾーンにおける文化複合施設の移転に向けて、他課と連携を取り合い協議していく。</p>					
松戸の教育 参考ページ	P105 8社会教育施設利用状況〔市民会館〕						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
文化 会館 管理 運営 事業 (森のホール21) (P43)	社会 教育 課	市民文化の振興及び市民福祉の増進を図るために設置した施設であり、芸術、文化の鑑賞、発表等の市民参加の場として、さらに人々の芸術文化活動を支援する。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		管理運営面では、市民の利便性の向上を図るため、公益財団法人松戸市文化振興財団において、ホームページを適宜更新し、情報発信を行った。維持管理の面では、計画的な修繕や工事の実施により、市民が安全に利用できるよう努め、市民文化の振興及び市民福祉の増進を図るため、芸術、文化の鑑賞、発表等の市民参加の場としての利用に供することで、人々の芸術文化活動の支援を行った。そのほか、温水洗浄便座設置等を含む改修工事について、設計委託を行った。					
		<ul style="list-style-type: none"> ・利用状況 R2年度 61,349人 (1,201件) ・利用状況 R1年度 299,538人 (3,495件) 					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			A	A	A	A	A
		令和3年度の方向性(Action)					
日常的な点検及び計画的な管理、修繕により、引き続き市民に安全に利用していただく。修繕の実施にあたっては、予算の平準化や修繕に伴う休館日の調整など、関係各所との調整を図って進めていく。また、令和2年度の設計に基づき、令和3年度から4年計画で温水洗浄便座設置等の工事を進めていく。							
松戸の教育 参考ページ	P104 8社会教育施設利用状況〔文化会館〕						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
松 雲 亭 管理 運営 事業 (P43)	戸 定 歴 史 館	茶室である松雲亭の利用促進を図り、社会教育施設として、茶道だけでなく、様々な文化的活動に対し、市民の文化的教養を深める機会及び学習の場を提供する。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		茶道のほか、短歌、俳句、吟行、朗読会、甲冑の製作・着用体験などに利用された。(令和2年度は感染症対策のため、活動内容に制限あり)					
		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の延べ人数 1,894人・88件 (前年度 5,498人・146件) ※新型コロナウイルスの影響でR2.4.1~7.6は貸出休止					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			A	A	A	A	A
		令和3年度の方向性(Action)					
茶道に限らず様々な芸術文化的活動に対し、文化的教養や芸術的教養を深める機会の提供と歴史や文化芸術に係わる学習の場を提供していく。							
松戸の教育 参考ページ	P94 6戸定歴史館〔松雲亭の貸出〕						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
博物館 管理 運営 事業 (P43)	博物館	市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するために設置した施設であり、利用者が安全で快適な環境で学習できるよう更なる利用の促進を図る。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		復元竪穴住居3棟のうち1棟の修繕、屋上防水工事を実施した。利用者が安全に利用してもらえるよう新型コロナウイルス感染拡大防止対策の徹底に取り組んだ。 ・博物館利用者数 R2年度(42,116人) R1年度(57,676人)					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			C	C	B	B	B
		令和3年度の方向性(Action)					
		博物館の老朽化問題については、利用者に安全で快適な施設を提供するうえで、重要な課題である。損傷状況に応じ、年次計画で修繕等を行い施設の適正な維持管理を図る。令和3年度には、復元竪穴住居の1棟を修繕を行う。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対策を万全にし安全に利用してもらう。					
松戸の教育 参考ページ	P24 博物館管理運営事業						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
シティ・ミニコンサート 開催事業 (P43)	生涯学習 推進課	松戸にゆかりの音楽家を市役所(市議会議場)に招き、毎月第3水曜日に定期コンサートを開催する。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		・第257回「音楽で自粛疲れを癒そう♪ ~チェロの音にのせて~」 日時:2020年11月18日(水)12時15分から12時45分まで(11時30分開場) 場所:松戸市議会議場 ※4月(250回).5月(251回).6月(252回).7月(253回).8月(254回).9月(255回).10月(256回).12月(258回).1月(259回).2月(260回).3月(261回)の開催は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			A	A	A	A	B
		令和3年度の方向性(Action)					
		引き続き、お昼のくつろぎの時間を利用して、芸術性の高い音楽を市民や職員に提供すると共に、松戸市ゆかりの演奏者を、中心とした音楽活動の提供の場として、市民の音楽文化の涵養に寄与する。 令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、イベント開催における感染防止対策を十分に講じて実施していく。					
松戸の教育 参考ページ	—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
生涯学習センター計画事業（P43）	社会教育課	図書館整備計画と連携した、生涯学習センターの計画策定に着手する。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		図書館機能を中核とする文化複合施設について、引き続き、関係部署と検討を行った。新拠点整備課により「新拠点ゾーン整備基本計画」が策定され、区画整理、庁舎機能に続く第3段階として、図書館機能を含む商業・業務・文化機能の整備が位置付けられた。					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			A	A	A	A	A
		令和3年度の方角性(Action)					
「(仮称)松戸市文化複合施設整備基本構想」の策定に向けて、引き続き関係部署と文化機能や規模について検討を重ねていく。							
松戸の教育参考ページ		—					

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
地域の居場所づくり促進事業（P43）	社会教育課	地域で人々が、気軽にあつまり、学習や交流、自作品の発表、囲碁・将棋、俳句・短歌など趣味や学習の成果を生かすことのできる場所として、地域の居場所づくりを支援する。					
		・居場所づくりに関する調査・研究					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		社会教育課所管の旧齋藤邸（松戸市紙敷）において、学習支援専門員による講座等を開催した。昨年度開催した、季節のミニコンサート、旧齋藤邸祭りについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を見送ったため、利用者数は前年より減少している。 ・利用者数 R2：615人（R1：1,447人）					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			C	B	A	A	A
令和3年度の方角性(Action)							
イベント、講座等の行事開催にあたっては、引き続き新型コロナウイルス感染症の対策が必要となるため、両立可能な行事を継続するほか、PR動画を活用した周知等により、広く市民に利用していただけるよう検討していく。							
松戸の教育参考ページ		—					

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
地域の居場所づくり促進事業 (P43)	生涯学習推進課	地域で人々が、気軽にあつまり、学習や交流、自作品の発表、囲碁・将棋、俳句・短歌など趣味や学習の成果を生かすことのできる場所として、地域の居場所づくりを支援する。						
		・居場所づくりに関する調査・研究						
		令和2年度の実施状況(Do)						
		生涯学習推進課所管の社会教育施設(5か所/矢切公民館、根木内タウンスクール、青少年会館・分館・文化ホール)の貸出施設において市民の学びの活動が行われているがR2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため利用制限等を実施した。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)		H28	H29	H30	R1	R2
				B	B	B	B	B
		令和3年度の方角性(Action)						
団体や個人がさまざまな学びを行う場所としては公民館等だけではなく、市民センター等の公共施設の活用も多く、公民館等も同様に市民が気軽に利用できる貸出施設として引き続き管理運営を実施する。								
松戸の教育参考ページ		—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
地域の居場所づくり促進事業 (P43)	図書館	地域で人々が、気軽にあつまり、学習や交流、自作品の発表、囲碁・将棋、俳句・短歌など趣味や学習の成果を生かすことのできる場所として、地域の居場所づくりを支援する。						
		・居場所づくりに関する調査・研究						
		令和2年度の実施状況(Do)						
		・本館5階の学習室を図書館資料を使用した学習の場として提供した。 ・新型コロナウイルス感染対策として、飛沫防止シート、手指消毒液の設置、定期的な消毒の実施を行うことで、利用者が安心して図書館を利用できるよう取り組んだ。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)		H28	H29	H30	R1	R2
				B	B	B	B	B
		令和3年度の方角性(Action)						
・地域の居場所としての役割を担えるように、必要な調査・研究を行う。								
松戸の教育参考ページ		—						

《 施 策 》

(3) 学習意欲を喚起し、自己実現を実感できるステージへの誘導

施策(3) 総合評価(事業課数6)											
評価の割合	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	5/6	83.3%	5/6	83.3%	5/6	83.3%	5/6	83.3%	2/4	50.0%	A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	1/6	16.7%	1/6	16.7%	1/6	16.7%	1/6	16.7%	2/4	50.0%	
C	0/6	0.0%	0/6	0.0%	0/6	0.0%	0/6	0.0%	0/4	0.0%	

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
学 (各種講座開催) 提供 一部再掲 業 (P32) (P44)	生 涯 学 習 推 進 課	【ふるさと発見創造講座】 自らの生活課題や社会的課題に即した学習をはじめ、松戸の歴史・文化・環境などを調査研究しその成果をまとめ市民に伝えるなど、社会貢献活動にかかわる学習グループづくりを目指した学習機会を提供する。						
		令和2年度の実施状況(Do)						
		〈実施内容〉 【ふるさと発見講座】 社会貢献活動に関わる学習グループづくりを目的とした講座の開催。						
		〈実施状況〉 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)		H28	H29	H30	R1	R2
				A	A	A	A	-
		令和3年度の方角性(Action)						
【講座体系の見直し】 市民一人一人が自己を充実することをはじめ郷土の歴史や文化を知り、主体的に地域課題に関心をもって地域共生社会の実現に取り組むことができるような各種学習の機会へ見直しを図る。								
松戸の教育 参考ページ		P64 [ふるさと発見創造講座]						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
学 習 機 会 提 供 事 業 (P41) (再掲) (P44)	生 涯 学 習 推 進 課	【市民自主企画講座】 市民が自ら学んだ成果の発表の場として、生涯学習推進課と連携しながら市民自主企画講座を実施することで、共に学ぶボランティア活動促進につなげることを目的として開催する。また、テーマを持った市民同士のネットワークができるよう支援する。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		<実施内容> 【市民自主企画講座】 市民の自主企画講座の開催。					
		<実施状況> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
		A	A	A	A	A	-
令和3年度の方向性(Action)							
【講座体系の見直し】 市民一人一人が自己を充実することをはじめ郷土の歴史や文化を知り、主体的に地域課題に関心をもって地域共生社会の実現に取り組むことができるような各種学習の機会へ見直しを図る。							
松戸の教育 参考ページ	—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
学 習 機 会 提 供 事 業 (P41) (再掲) (P44)	生 涯 学 習 推 進 課	【生涯学習支援ボランティアバンク】 地域社会をよくするために、市民が主体となり学習した成果や自らの経験や知識を生かすことを目的とした生涯学習支援ボランティアバンクを設置し、学習支援の促進を図る。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		<実施内容> 【生涯学習支援ボランティアバンク】 ボランティアの募集と登録及び紹介の実施。まつどまなびいネットや市ホームページに生涯学習支援ボランティア登録者の情報等を掲載し、利用促進を行った。					
		R2: 支援内容及び実績 編み物指導:参加者数 延べ384人 スポーツダンス:参加者数 延べ99人 童話等拡大写本作成と弱視児童へ寄贈、展示・実演:参加者数 延べ126人 話し方・冠婚葬祭マナー:参加者数 延べ100人					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
		A	A	A	A	A	B
令和3年度の方向性(Action)							
利用者の減少、ボランティア登録更新・新規登録者の減少していることから廃止する。個人や団体の学びの活用については学校教育ほか他分野でのニーズ把握等により検討していく。							
松戸の教育 参考ページ	—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
博物館友の会支援・協働事業 (P44)	博物館	【市民企画講座】 市民が自ら学んだ成果の発表の場として、生涯学習推進課と連携しながら市民自主企画講座を実施することで、共に学ぶボランティア活動促進につなげることを目的として開催する。また、テーマを持った市民同士のネットワークができるよう支援する。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		社会教育団体である博物館友の会に学習の場と機会を提供し、協働で講座・講演会や体験教室等のイベントを実施した。※新型コロナウイルス感染拡大防止のため。中止や変更を行っている。 ・共済事業 R2年度 講演会(3講演:参加者計100名・人数制限80名→38名)、体験教室(0事業※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止) R1年度 講演会(6事業)、体験教室(4事業)					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			A	A	A	B	B
		令和3年度の方向性(Action)					
新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、実施の方法や対策などを検討し、可能な限り事業を進めていく。 大学生・高校生の利用が少ないのが現状である。友の会との共催事業をこれまで以上に活発化するとともに、友の会への支援、宣伝への助力、ポスター掲示等を行う。							
松戸の教育 参考ページ	—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
成人式開会事業 (P44)	社会教育課	「国民の祝日に関する法律」に定められた「成人の日」の趣旨である、「大人になったことを自覚し自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます」ため、新成人自らが企画運営する成人式を開催する。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		本市の成人式は、新成人自らが企画運営する参加型学習機会の場としている。今回は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、当初予定していた会場開催を見送り、インターネットを活用したライブ配信によるオンライン開催とした。準備段階から様々な制約を受けるなか、新成人スタッフはライブ配信内のイベント企画、実践を通じて自己実現を図ることができた。 ・R2年度 対象者 5,094人 ・R1年度 成人式出席者数 2,906人 累計視聴回数 6,881回 成人式出席率 59.7% 新成人スタッフ 17人 新成人スタッフ 13人					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			A	A	A	A	A
		令和3年度の方向性(Action)					
引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響下での開催が想定される。松戸市として多くの新成人を祝うことができるよう、オンライン配信の実施も含めた形式での開催を検討していく。							
松戸の教育 参考ページ	P54 成人式開催状況						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
美術文 (地域美術振興支援) 事業(P44)	社会教育課	松戸市在住・在勤美術家に作品発表の場を提供するとともに、情報を発信して地域の文化芸術活動の振興を支援する。						
		令和2年度の実施状況(Do)						
		松戸市在住・在勤美術作家4人の活動を個展形式で市民に紹介する「松戸の作家の個展」を開催し、その情報を広く市内外に発信した。 ◆会場 : 森のホール21アートスペース(エントランスホール) ◆開催期間: 令和2年6月16日から令和3年3月21日(1回約2ヶ月間×4回) ◆参加作家: 4人(岩崎秀太氏、稲積修氏、多根幸子氏、原太一氏)						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)		H28	H29	H30	R1	R2
		(3段階評価)(Check)		A	A	A	A	A
		令和3年度の方角性(Action)						
本事業を継続して実施する。 展示作品を平面に限っているが、作家の年齢層やジャンル、性別等が偏らないように配慮する。 【課題】 ・展示環境の向上 ・出品可能な美術作家の発掘								
松戸の教育 参考ページ		P61(3)美術館準備室						

【基本目標4】 地域、学校、家庭が連携した青少年の学びの充実

〈施策〉

(1)家庭教育の充実

施策(1) 総合評価(事業課数1)												
評価の割合		H28		H29		H30		R1		R2		解説
A		1/1	100%	1/1	100%	1/1	100%	1/1	100%	1/1	100%	A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B		0/1	0.0%	0/1	0.0%	0/1	0.0%	0/1	0.0%	0/1	0.0%	
C		0/1	0.0%	0/1	0.0%	0/1	0.0%	0/1	0.0%	0/1	0.0%	

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
家庭教育力向上事業 (一部再掲(P34)) (P45)	生涯学習推進課	家庭教育力の向上を支援するため、幼児、小学生、中学生の保護者に学習機会を提供する。 ・家庭教育学級 ・幼児家庭教育学級講座 ・中学校家庭教育学級 ・市全体として家庭教育の教育力を支援する方策の研究					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		【家庭教育学級の推進】 ・小学校家庭教育学級 コロナ禍により各小学校での学習会の開催が困難となったため、全小学校の保護者を対象とした、小学校家庭教育学級を開設し、開催した。 R2実績: 社会教育施設見学会 市立博物館(3日間開催 26名) 戸定歴史館(3日間開催 33名) オンライン座談会(2日間開催 16名) 各小学校家庭教育学級自主開催(10校 14回 延べ109名) 市ホームページに「松戸市家庭教育学級の広場」を開設し、発達段階に応じた、「家庭教育学級だより」を発信した。 ・幼児家庭教育学級講座 →新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 ・中学校家庭教育学級 →新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 ・市全体として家庭教育力向上支援する方策の研究 R2実績: 川島隆太教授家庭教育講演上映会(2日間 121名) パートナー講座 (5回 224名)					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
		A	A	A	A	A	
		令和3年度の方向性(Action)					
		・誰でも参加できる家庭教育学級 松戸市立小学校家庭教育学級を全小学校に開設し、各小学校家庭教育学級の特色や運営状況を把握に努め、状況に応じ、社会教育指導員とともに、きめ細やかな支援を行うとともに充実した学習会となるよう研修会等の持ち方を工夫していく。 Matsudo child-raising classを新設し、小・中学生の保護者を対象とし、多様性に対応できる(オンライン座談会、開催時間の考慮等)学びの場の提供をする。 ・家庭教育力向上支援 川島隆太教授による家庭教育講演会開催 川島隆太教授監修による、発達段階に応じた家庭教育力向上支援としてのパートナー講座の推進					
松戸の教育参考ページ		P66(2)家庭教育学級等の状況					

《 施 策 》

(2) 地域、学校、家庭の連携事業の促進

施策(2) 総合評価(事業課数3)											
評価の割合	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	0/4	0.0%	0/3	0.0%	0/3	0.0%	1/3	33.3%	0/2	0.0%	A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている又は未実施
B	4/4	100%	3/3	100%	3/3	100%	2/3	66.7%	2/2	100%	
C	0/4	0.0%	0/3	0.0%	0/3	0.0%	0/3	0.0%	0/2	0.0%	

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
学校を核にした地域コミュニティづくり事業 (学校支援地域連携) (P45)	教育企画課	地域全体で学校が行う教育活動を支援する仕組みを構築し、学校支援ボランティア等の地域教育力の育成・活用を進めることにより、開かれた学校づくりと学校支援を通じた地域の連帯感の形成を図る。						
		令和2年度の実施状況(Do)						
		令和元年度に1学校区を加えた3学校区体制で、事業の推進を図り、既に定着している地域と学校との協働体制を強固なものとし、地域ボランティアがより活動しやすい環境整備に努めた。地域の個性・実情に合わせた取り組みがそれぞれの学校区で行われている。						
		担当課による定性評価(3段階評価)(Check)		H28	H29	H30	R1	R2
				B	B	B	B	B
		令和3年度の方角性(Action)						
本事業は国、県からの補助事業だが、補助額が令和元年度に事業開始後初めて減額となり、令和2年度においても申請額には満たず、事業継続に向けた資金的状況の厳しさが増している。 引き続き事業予算確保に向けた検討と共に、地域の活発な活動を停滞させることのないよう、支援体制を模索していく。								
松戸の教育参考ページ						—		

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
学校を核にした地域コミュニティづくり事業 (P45)(学校支援地域連携)	社会教育課	地域全体で学校が行う教育活動を支援する仕組みを構築し、学校支援ボランティア等の地域教育力の育成・活用を進めることにより、開かれた学校づくりと学校支援を通じた地域の連帯感の形成を図る。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		平成29年度以降は、教育企画課で事業を実施、評価を行っているため、社会教育課は評価対象外としております。					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			B	—	—	—	—
		令和3年度の方角性(Action)					
平成29年度以降、必要に応じて連携を図っております。							
	松戸の教育 参考ページ	—					

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
学校を核にした地域コミュニティづくり事業 (P45)(学校支援地域連携)	生涯学習推進課	地域全体で学校が行う教育活動を支援する仕組みを構築し、学校支援ボランティア等の地域教育力の育成・活用を進めることにより、開かれた学校づくりと学校支援を通じた地域の連帯感の形成を図る。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		事業の見直しにより、実施しなかったが、家庭教育事業等で学校との連携を行った。					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			B	B	B	B	—
		令和3年度の方角性(Action)					
令和3年度も実施しない。							
	松戸の教育 参考ページ	—					

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
幼児・児童の読書普及事業 (P41) (P45)	図書館	ボランティアを支援し、家庭や学校と連携した、地域における子どもの読書活動の推進を図る。					
		令和2年度の実施状況(Do)					
		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、小学校での読み聞かせ講座を中止した。親子絵本講座は、Facebook上で情報提供を行い、保護者やボランティアの読み聞かせ活動の支援とした。 <ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせ講座等(研修会含む) R2:Facebook上で連載を実施(7回) R1:17回(303名) ・新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じておはなし会を実施(定期おはなし会は中止) <ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会 R2:3回(延参加者44名) R1:509回(延参加者12,667名) ・感染防止策を講じた上で、家庭教育学級や保育所等に講師を派遣し、本の選び方や読み聞かせの方法についての出前講座・パートナー講座を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・講師派遣 R2:3回 R1:8回 					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H28	H29	H30	R1	R2
			B	B	B	A	B
		令和3年度の方向性(Action)					
保護者やボランティアの支援及び学校、保育所等の連携を図る。 また、社会情勢に柔軟に対応し、子どもの読書活動の充実に努める。							
松戸の教育参考ページ	—						

《 施 策 》

(3) 多様な学習、体験活動の充実

施策(3) 総合評価(事業課数2)											
評価の割合	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	2/2	100%	2/2	100%	2/2	100%	2/2	100%	1/1	100%	A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	0/2	0.0%	0/2	0.0%	0/2	0.0%	0/2	0.0%	0/1	0.0%	
C	0/2	0.0%	0/2	0.0%	0/2	0.0%	0/2	0.0%	0/1	0.0%	

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
青少年会館 学 習 機 会 提 供 事 業 (P36)	生涯学習課	<p>青少年が自ら、芸術、文化、スポーツにかかわり、自己表現を深め、学校外の学習を生き生きと取り組む機会を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年教室 ・青年講座 						
		令和2年度の実施状況(Do)						
		<p>〈実施内容〉青少年の自立を成長を育むことを目的として学校や家庭以外に文化やスポーツをはじめさまざまな体験や交流活動の機会を提供する。</p> <p>〈実施状況〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年教室 R2:41教室 延べ参加者数0,985名 ・青少年教室 R1:47教室 延べ参加者数2,343名 <p>文化系、スポーツ系、体験型等、幅広い分野からプログラムを企画し、提供した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため12教室を中止とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青年講座 R2:2講座 延べ参加者数 8名 ・青年講座 R1:7講座 延べ参加者数147名 <p>身近な課題を取り上げ、共に学習をすることで、出会いや仲間作りの機会を提供した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため1教室を中止とした。</p>						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)		H28	H29	H30	R1	R2
				A	A	A	A	A
		令和3年度の方角性(Action)						
		<p>(青少年教室) 新型コロナウイルス感染防止対策を行い、安心して参加できる内容の講座を企画運営し、参加促進に努める。</p> <p>(青年講座) 青年講座では若者の興味を引く内容の講座を企画し、参加しやすい曜日・時間帯を考慮して実施していく。</p>						
松戸の教育参考ページ		P73~P75(7) 青少年会館講座状況〔青少年教室〕・P78〔青年講座〕						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
青少年 活動支援事業 (一部再掲)(P34) (P46)	生涯学習推進課	青少年団体の成果発表と青少年会館利用者相互の交流の機会とするとともに、仲間づくり、社会的連帯感を高めていく機会とする。						
		令和2年度の実施状況(Do)						
		〈実施内容〉 青少年の交流と体験の機会として子どもたちや青少年団体が一緒にイベントを企画し実施する。						
		〈実施状況〉 ・文化祭&青年フェスティバル 青少年会館主催の講座や会館を利用する青少年団体等の成果発表を行うとともに、団体相互や地域の方との親睦を深め交流する機会とするため、文化祭&青年フェスティバルを毎年実施。 R2年度はコロナウィルス感染症拡大防止のため中止した。						
		・アートパフォーマンスまつり(芸術祭) 地域に根差した青少年の芸術活動を支援し、青少年が芸術に触れる機会とするため、アートパフォーマンスまつり(芸術祭)を毎年実施。 R1, 2年度はコロナウィルス感染症拡大防止のため中止した。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)		H28	H29	H30	R1	R2
				A	A	A	A	-
令和3年度の方角性(Action)								
引き続き、文化祭&青年フェスティバル及びアートパフォーマンスまつり(芸術祭)において、成果発表の場の提供や多様なプログラムを通じ、青少年、団体、NPOや地域の方が様々な交流を図れるよう更なる充実に努める。 新型コロナウイルス感染防止対策を講じ、安全なイベントの開催に努める。								
松戸の教育 参考ページ		P78[その他の状況]						

《 施 策 》

(4) 青少年活動を支援する指導者養成に向けた学習機会の提供

施策(4) 総合評価(事業課数1)												
評価の割合	H28		H29		H30		R1		R2		解説	
A	0/1	0.0%	0/1	0.0%	1/1	100%	1/1	100%	1/1	100%	A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施	
B	1/1	100%	1/1	100%	0/1	0.0%	0/1	0.0%	0/1	0.0%		
C	0/1	0.0%	0/1	0.0%	0/1	0.0%	0/1	0.0%	0/1	0.0%		

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
青少年の社会教育活動支援事業(P46)	生涯学習課	青少年教育にかかわる指導者の養成と指導者の交流の機会を提供します。 ・子どもの心と体の発達を理解する講座						
		令和2年度の実施状況(Do)						
		〈実施内容〉 青少年が自ら考え意見を表明する機会を創出するとともに青少年会館の活動に反映させる。						
		〈実施状況〉 子どもに関わるNPOとの協働事業にて、子どもと関わる際のコミュニケーションや良いグループの作り方について学ぶ講座を実施した。 ・子どもに関わる担い手育成事業 R2: 「20XX年 ある銀河からの帰還～宇宙空間でのリモート通信で、未知なる謎を解き明かせ～」/ 「小学生対象イベント企画・運営」 R1: 「MATSUDO学生クイズ選手権」/ 「夏休みあそびづくり」 R2: 2講座 全5回 受講者: 述べ48名 R1: 2講座 全5回 受講者: 述べ62名						
		担当課による定性評価(3段階評価)(Check)		H28	H29	H30	R1	R2
				B	B	A	A	A
令和3年度の方角性(Action)								
引き続き、子どもに関わる担い手の発掘と育成を目指して講座を実施する。 また、子どもと関わるイベント等を実施し、受講者が継続的に青少年会館の事業に関わる機会を提供する。 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じ、安全な講座の開催に努める。								
松戸の教育参考ページ		P76 子どもに関わる担い手育成プログラム						